

貴族院 第一回 議事速記録第三十六號

明治二十四年二月二十四日(火曜日)

午前十時五十分開場

- 議 第一 海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費  
繰越ニ關スル法律案(政府提出案)  
議院送付 第一讀會
- 日 第二 開墾殖民及警備ノ爲囚徒ヲ北海道ニ移  
スノ請願 會議
- 程 第三 明治二十二年法律第十二號廢止ノ請願 會議

○副議長(伯爵東久世通禧君) 本日ノ會議ヲ開クニ先ツテ御報告申シマ  
ス、第一部選出ノ請願委員子爵鍋島直彬君辭職ニ付去ル二十一日同部ニ於  
テ補缺選舉ヲ行ヒ加藤弘之君當選シタルニ同君ガ更ニ辭任ニ就キマシテ昨  
十三日同部ニ於テ更ニ補缺選舉ヲ行ヒ侯爵醍醐忠順君ガ當選ニナリマシタ、  
次ニ昨日議決イタシマシタル菓子稅則改正ノ請願並ニ千葉縣下利根川北岸村  
落管轄變更ノ請願意見書ハ二通トモ今朝之ヲ政府ヘ送付イタシマシテゴザイ  
マス、本日ハ海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案第  
一讀會ヲ開キマス、夫レニ就キマシテ政府カラノ通牒ガゴザイマスデ一應朗  
讀イタサセマス、

(金子書記官長朗讀)

海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案  
右議院法第二十七條但書ニ依リ讀會ノ順序ヲ省略シ且委員ノ審査ヲ經ス議  
定相成度此段及通牒候也

明治二十四年二月二十三日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋

貴族院議長伯爵伊藤博文殿

○副議長(伯爵東久世通禧君) 右ノ通り三讀會ヲ省略イタシタイト申ス通  
牒デゴザイマスカラ之ヲ各員ニ御尋イタシマス、但シ三讀會ノ省略ハ出席議  
員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決スル譯デゴザイマスカラ此事ヲ申シ上ゲテ  
置キマス、三讀會ヲ省略スルニ同意ノ議員ハ起立……

起立者 多數

○副議長(伯爵東久世通禧君) 多數デゴザイマスカラ三讀會ハ省略スルコ  
トニ決シテゴザイマス、又委員ニ託スルコトハ政府ノ要求ニ據リマシテ之ヲ  
省キ審査ヲ經ズシテ直ニ會議ヲ開キマス、是レヨリ議案ヲ朗讀イタサセマス、

此理由書ノ所ハ省略ヲ致シマス、

(矢代書記官朗讀)

海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ據リ及送付候也

明治二十四年二月二十一日

衆議院書記官長曾禰荒助

貴族院議長伯爵伊藤博文殿

右 海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十四年二月十四日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋  
大藏大臣伯爵松方正義  
海軍大臣子爵樺山資紀

海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案

明治二十三年度マテニ竣功スヘキ海軍省所管軍艦及水雷艇並之ニ裝置ス  
ル兵器ノ製造事業ニ係ル繼續費ニシテ竣功遲延ノ爲メ同年度マテニ支出ラ  
終ラサル金額ハ明治二十六年度マテ遞次繰越使用スルコトヲ得

○政府委員(本宿宅命君)

此法律案ヲ發シマシタル理由ハ理由書ニ一ト通  
リ載セテゴザイマスカラ、別段ニ申シ上ルコトモゴザイマセヌナレドモ、其理  
由ヲ詳ニセンガタメニ一應申シ述ベマス、此理由書ノ末ニ添付イタシマシタ  
ル所ノ表ノ第二ニ掲ゲテアル所ノ費用ハ明治十九年或ハ明治二十年又ハ明治  
二十二年ヨリ段々繰越シ來タル所ノ軍艦水雷艇及ビ其軍艦水雷艇ニ搭載スベ  
キ兵器製造ノ費用デゴザイマシテ、明治二十二年度ヨリ二十三年度ニ會  
計年度轉遷ノ際ニ、特別ニ發シタル所ノ法律第十一號ノ第六條ニ據リマシテ  
會計法第二十二條ニ掲ゲテアル所ノ繼續費トシテ繰越シタル費用デゴザイマ  
ス、今申シ上ゲタ通り明治十九年度ヨリ引續キ軍艦水雷艇及ビ其兵器ヲ製造  
スル費用デゴザイマス、故ニ其事業モ自ら引續キ來タモノデゴザイマシテ、

明治二十二年度ヨリ二十三年度ニ轉遷ノ際ハ明治二十三年度即チ本年三月三  
十一日迄ニハ此支拂ハ完結イタス積リデアッタ費用デゴザイマス、然ル所理  
由書ニモ掲ゲテアリマスル通り種々ナル障礙モ差起リマシテ事業ガ大ニ遲延  
イタシマシタ、夫レ故ニ本年度ニハ其支拂ヲ完結イタシカチル次第ニ立至  
リマシタ、其金額ハ即チ理由書ノ末ニ添付イタシマシタル所ノ三百九十五萬七  
千九百十四圓六十錢ト云フモノハドウシテモ二十三年度内ニハ拂ヒ切レマセ

ス、二十四年度ニ繰越サチバナラヌ次第二相成リマシタ、然ルニ此繰越シニ關スル事ハ會計法ノ第二十一條ト第二十二條ノ此兩條ニ規定シテゴザイマシテ其第二十一條ハ繼續費ノ方ニ適用スル條デハゴザイマセヌ、繼續費ニ適用スベキハ第二十二條デアツテ數年ヲ期シテ竣工スヘキ工事製造及ヒ其他ノ事業ニシテ云々竣工年度迄繰越之ヲ使用スルコトヲ得ト云フ法律ノ文デゴザイマスル、故ニ繼續年度中ハ繰越スコトハ出來マスルケレドモ繼續ノ最終年度ヨリ先キニ繰越スコトハ出來ヌト云フコトニナツテ居リマスル、然ルニ最初此軍艦水雷艇及ビ其兵器製造事業ハ二十三年度ノ末日迄ニハ完結イタス見込デアツタ故ニ、二十三年度ガ即チ竣工年度デアルカラ、會計法ニ據リマスト、其後ニ繰越シテヤルト云フコトハ出來マセヌ、夫レ故ニ此特別法律ヲ設ケテ其金額ヲ二十四年度後ニ繰越シ使用スルコトヲ得セシムルコトニ致シタイノデ、然ラザレバ只今出來テ居ル所ノ軍艦……然ラザレバ只今出來テ有ル所ノ軍艦ヲ半分造リ掛ケテ其儘置カチバナラズ軍艦千代田號ノ如キハ當時よりつぱヨリ廻航中デ……航海中デゴザイマスル、れつぱしい航海中デゴザイマス、斯ノ如キモノモ二十三年度限りデ繰越シガ出來チバ其處ニ船ノ到著シタ所ニ留メテ置カチバナラヌト云フヤウナ困難ガ出來マスル、内國ニ於テ製造シテ居ル軍艦又外國ニ於テ製造シテ居ル軍艦モアリマスガ夫レ等ハ製造半バニ其儘ニ差置カチバナラヌト云フコトニナリマス、特別法律ヲ設ケナケレバ之ヲ二十五年年度豫算ニ繰込メ製造費用ヲ請求シナケレハナラヌ、然ル時ハ四月一日ヨリ二十五年三月三十一日迄工事ヲ休ンデ置カナケレバナラヌ様ナ困難ニ相成リマス、明治二十三年度ニ事業ガ終ルト見込モノガ終リ兼チ……二十三年度中ニ諸拂ノ完結イタス積リノモノガ完結シナイトナルト……總シテ二十四年度ノミデハナク二十五年年度迄モ二十六年年度迄モ繰越スヤウニ相成ツテ居リマスル故ニ甚ダ海軍省ガ見込ミ違ヒヲ致シタカ、然ラザレバ甚ダ取計ヒ方ガ粗漏デアツタト云フヤウナ御疑ガ起リマセウト思ヒマスルガ、軍艦ハ外國デ製造スルモノハ勿論内國ニ於テ製造スル軍艦ト雖モ其材料ノ多分ハ外國ヨリ取寄セマスル、夫レ故ニ隔絶シテ居ル所ヨリ材料ヲ取寄セ隔絶シテ居ル所ニ注文シテ製造スル軍艦デゴザイマスル故ニ之ガタメニ派遣シテ居ル監督者モゴザイマスルケレドモ何分意ノ如クナラズ、其上職工ノ同盟罷工ノ如キ豫期スベカラザル事ガ起ツテ斯ノ如ク遅延イタシマシタ、併シ此内ノ多分ハ明治二十四年度ニ大概竣工イタシマスル、夫レモ理由書ニ添付イタシマシタル第一ノ表ヲ御覽ニナレバ分リマス、其内二十六年度ニ延ビマスルノハ橋立ト申ス軍艦ガ一艘デ其外ハ二十五年度ニ延ビマスルノハ松島ト申ス軍艦一艘、其外ハ水雷艇デゴザイマシテ其外ノ軍艦ハ二十四年度ニ済ミマスル、今斯ノ如ク延期シタル事實ヲ申シマスレバ嚴島、松島、橋立ノ三

艘ノ軍艦ハ随分大キナ大砲モゴザイマシテようろつぱ各國ノ軍艦ニモ餘リ澤山無イ程ナ随分大キナ大砲デゴザイマス、夫レ故ニ此製造ガ意ノ如クナラズ之ヲ載セベキ大砲ノ臺ノ製造ノ結果ガ惡イト云フヤウナコトガ起リマシテ之ガ原因トナツテ夫レヨリ造船ノ工事ニ差響イテ遅延イタシマシタ、其内二十五年年度ニ延ビマスル松島ハ嚴島ヨリ後レテ注文ヲ致シマシタカラ自然ト後レ、橋立ハ一番後レマシテ二十六年年度迄掛リマス、是レハ又甚ダ不幸ナ障礙ニ出逢ヒマシタルノデ最初此橋立ノ艦材ヲふらんすニ注文イタシマシテ日本ニ……横須賀ニ廻航スル途中間違ガ出來イタシテ……行違ガ出來イタシテ大ニ到著ガ延引イタシタ其後ニ又此船ヲ造ルベキ艦材ヲ載セタル郵船ガあでん港ニ於テ沈没イタシマシタ、斯ノ如ク豫期スベカラザルコトニ出逢ヒマシテ段々延期シマシタ、又二十五年年度迄延期イタシマシタ水雷艇是レモ著手後幾程モナクシテ同ジ形ノ水雷艇ガふらんすニ於テ轉覆イタシマシタ、其轉覆ハ果シテ船ノ構造ガ惡イカ之ヲ運轉スル者ノ不熟練デアルカ分リマセヌ、ケレドモ轉覆シタモノヲ其儘製造スル譯ニモ行カンカラ一時中止イタシマシタ、夫レ故よりつぱ派遣ノ將校ニ訓令ヲ下シテ其事柄ヲ取調ベ彼國ニ於テモ色々取調ベ其轉覆ノ原因何レニ在ルカト云フコトヲ取調ベルニモ一年餘モ掛リマシタ夫レヨリ再ビ計畫ヲ仕直シテ少シク改良ヲ加ヘ完全ナ物ニシヤウト云フコトデ色々後レマシタ、水雷艇ノ一番後ノ方ニゴザイマスモノハ是レハ其中デハゴザイマセヌ是レハふらんすトせるまんニ注文シタ水雷艇デゴザイマス、此延期ハサウ云フヤウナ延期デナクツテ訛ヘテ居タル所ノ會社ガ其本國ノ政府ヨリ豫テ訛ヘテ受ケタル所ノ工事ヲ大ニ急ガル、ニ付テ日本トノ約定ハ後デモアル故ニ日本ノ方ハ假令罰金ヲ出シテモ是レハ自國ノ工事ヲ急ガチバナラヌト云フ、斯ノ如キ豫期スベカラザル種々ノ障礙ニ遇ヒマシタコトデゴザイマス、是レガ家屋ノ建築トカ土工ノ如キモノナレバ二十三年度迄ニ姑息ノ仕事ヲシテ置イテ更ニ二十五年年度ノ豫算デ請求シテ宜シイ次第デゴザイマスルガ何分此軍艦ノ製造ヲ急ギマスルコトハ各位ニ於テ御存ジノ通りノ次第デゴザイマスルカラ已ムヲ得ズ此法律ヲ提出イタシタル次第デアリマス、此法律ノ可決スルト否決スルトハ大海軍ノ勢力ノ消長ニモ關係イタシマスルカラ何卒可決アラントラ希望イタシマスル、

○細川潤次郎君 政府委員ノ説明ハ甚ダ明瞭デアリマシタ又理由書ニモ書イテゴザイマスルコトデ是レハ今日如何トモスベカラザルコトデアラウト存ジマスル、我輩無論原案賛成デゴザイマス、又チヨット心得ノタメニ一ノ質疑ヲ申シ上テ置キタイト云フノハチヨット申シタレバ甚ダ迂濶ナコトノヤウデゴザイセウケレドモ此案ニ關係ノゴザイマスル故ニ猶ホ其疑ノ有ル所ヲ質シテ置キマシタナレバ我々愛國心ノ稍、安マル所モアラウカト存ジマスル故ニ御面

倒ナガラ御説明ヲ願ヒタイト存ジマスル、諸右ノ通りニ豫期スベカラザル色々ノ障礙ニ遭遇スルト云フコトハ實ニ感服ヲ致シマセヌ、其國ハ海外ノ國デアツテ萬里ノ波濤ヲ越エテ居ルコトデアリマスルカラ是レハ誰デモ認メンケレバナラス是レハ我國デモサウ云フ行違ヒガ出來ストハ斷言ハ致シマセヌ、況ヤ外國ニ於テラヤ、然ルニドウカ致シテ即チ我海防上ノ取替ヘモ無イ重大ナル器械ノコトデゴザイマスル故ニ左様ナ行違ヒガ後來無イヤウニト云フコトナ心配イタシテ見マスルニ是レハドウカ海外ノ鼻息ヲ仰グト云フコトナクシテ我日本丈ケデ此工事ヲスルコトニ成ツタレバ左様ナ障礙ハ十ノ八九ヲ減却スルコトダラウト思ヒマス是レハ即チ我輩日本臣民トシテ熱心ニ希望ヲスル點デゴザイマスル、併シ物事ハサウ一足飛ビニハ參ラヌ漸ク此海軍ノコトニシタ所ガ造船又ハ水雷艇杯ハ新ラシイ事業デ我國ニハ夫レ等ノ教育モナク經驗モ乏シイコトデアリマスカラ是レモ亦已ムヲ得ヌコトデゴザイセウ、我々モ決シテ其所ニ至ツテハ不同意ノ說ヲ唱フル譯デハナイ、然ルニ別表ニ依ツテ見マスルニ軍艦ナリ又水雷艇ナリ日本デモ出來ルト云フコトヲ以テ見マスルト是レ等ノコトハ外國ニ仰ガチバナラスコトハナイト見エテ已ニ出來テ又出來掛ケテ居ル次第デゴザイセウ、然レバ或ハ斯ノ如キ大切ナル器械ヲ我日本ニ於テ製造ヲ致シ或ハ外國ニ於テ製造ヲ致シ外國ノ内デモ或ハ英國ナリ或ハふらんすニ注文スルト云フハ我海軍省ハドウ云フ御定見デアアルノデゴザイマスルカ、ソコヲ一應御尋ヲ致シタイ、

○政府委員(本宿宅命君) 只今御尋デゴザイマスルガ素ヨリ獨立國ノ海軍ノ體面ヲ全フスルニハ軍艦ニアレ兵器ニアレ悉ク內國ニ於テ製造セザレバ其目的ヲ達シマセヌ、當局者ニ於テモ其所ニ於テハ熱心ニ考ヘテ居リマス、已ニ十九年以來吳鎮守府ノ工事ニ著手シ又佐世保鎮守府ノ工事ヲモ致シテ、只今繼續費ヲ以テ兩方ノ鎮守府ニ於テ……吳ノ方ニハ造船所佐世保ニハ修船場ヲ作ツテ居リマス、是レモ追々其目的ヲ達センガタメ吳港ニ兵器製造所ヲ作ル計畫ヲシテ豫算ニ繰込ンデアリマス、是レモ內國ニ於テ大砲ヲ製造スル計畫デゴザイマス、只今ノ所デハ歎カハシイ次第ニハ大キナ大砲ガマダ作ルコトガ出來マセヌ、造船所ハ横須賀ノ鎮守府ノ造船部ノ工場ガ整頓イタシマシテ同所ニ於テハ如何ナル軍艦モ出來マス、ケレドモ其軍艦ヲ組立テル鐵材ヲマダ內國ニ於テ製造スルコトハ出來マセヌ、斯ノ如キ有様ナル故ニ內國ニ於テ製造スル軍艦ノ材料ト雖モ外國ニ注文スル次第デゴザイマス、併ナガラ鋼鐵ノ製造場ノ如キモ鐵材ノ製造場ノ如キモ著々歩ヲ進メテ內國ニ於テ製造スルマデニナルヤウニ當局者ニ於テモ熱望シテ居ル次第デゴザイマス、又別表ニ掲ゲテアリマスル通り英國ニ注文シ或ハ佛國ニ注文スルト云フ此譯ハ今完全ナル軍艦ヲ打建テル所ガ横須賀造船所一箇所デアツテ一時ニ多クノ軍艦

ヲ製造スル場合ニ於テハ勢ヒ外國ニ注文セザレバ出來ヌ次第デゴザイマス、吳ノ鎮守府ノ製造場ハ最早來年……二十四年度ヨリハ小サナ船ノ製造モ出來マスル、來々年ニナリマスレバ砲艦……がんぼーと位ノ製造ハ出來マス、尙ホ工事ノ模様ニ依テハ巡航艦位ノ製造モ出來マセウト存ジマス、是レ丈ケ御答ヲ致シマス、

○三浦安君 此案ハ事情モ已ムヲ得ズ條理モ已ムヲ得ズ更ニ異議ハアリマセヌ、速ニ決ヲ探ラレンコトヲ希望イタシマス、

○副議長(伯爵東久世通禧君) 諸君御發議ナクバ決ヲ探リマス、該案ニ同意ノ諸君ハ起立……

總員 起立

○副議長(伯爵東久世通禧君) 全會一致デゴザイマス、次ハ開墾殖民及警備ノ爲因徒ヲ北海道ニ移スノ請願、

(矢代書記官朗讀)

意見書案

別冊東京市京橋區銀座三丁目十番地平民岩谷松平ノ北海道拓地殖民及警備ノ爲刑期二箇年以上ノ者ヲ該道ニ移スノ請願ハ第一北海道拓地殖民ノ事業ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ全國囚徒凡七萬人ノ内刑期二箇年以上ノ者凡二萬人ヲ該道ニ移シ一ハ我カ國ノ利源ヲ收メ一ハ該道ノ警備ヲ謀ルヘシ、第二重懲役輕懲役終身懲役及輕罪二箇年以上ノモノ、經費ハ總テ國庫ノ支辨ト爲スヘシ、第三多數ノ囚人ヲ該道ニ移シ之ヲ使役スルコト當局ニ於テ難事トセラルレハ請願人自ラ之ニ當ルヘシ然ルトキハ政費ノ過半ヲ減スヘキヲ以テ先ツ十箇年ヲ以テ一期ト爲シ制規ノ雇工錢ヲ給セラルヘシ他ノ方法ノ如キハ其ノ筋ニ稟議シ之ヲ定ムヘシトノ旨趣ニシテ其ノ方法タル未タ悉ク探ルヘカサルモノアリト雖地ヲ拓キ民ヲ移シ北門ノ鎖鑰ヲ固フセント欲スルカ如キ國家ノ一大問題ニシテ請願者身自ラ其ノ地ヲ跋涉シ深ク其ノ策ヲ講スルニ至リテハ憂國ノ情樂ツヘカサルモノアルヲ以テ貴族院ニ於テ採擇スヘキ請願ナリト議決致候依リテ議院法第六十五條ニ因リ別冊及御送付候也

明治二十四年二月 日

貴族院議長伯爵伊藤博文

內閣總理大臣伯爵山縣有朋殿

(左ノ請願書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ此ニ載録ス)

請願書

東京市京橋區銀座三丁目十番地平民

雜貨商 岩谷 松平 四十二年

第一 北海道ヲシテ現今ノ如ク政府カ冷淡視シ置カル、トキハ同道ノ利源

ハ遠カラシテ外人ノ掌握ニ歸シ延ヒテ我國ノ安危ニ一大關係ヲ及ボス  
モノナリ故ニ同道殖民開拓ノ事業ハ實ニ焦眉ノ急務ト云フベシ因テ全國  
囚人凡七萬人ノ内刑期二箇年以上ノモノ凡二萬人ヲ年々北海道ニ移シ就  
役セシメ一ハ利源ヲ我國ニ收メ一ハ同道ノ警備ヲ計ラントスル事

第二 重懲役輕懲役終身懲役及輕罪二箇年以上ノモノ、輕費現今ノ如ク地  
方稅ヲ以テ支出スルヲ改メ無期有期徒刑囚ノ如ク國庫ノ支辨トスル事

第三 數多ノ囚人チ北海道ニ移シ事業ニ使役スルコト當局ニ於テ難事トセ  
ラレナハ松平自ラ之ヲ引受ケ自ラ其衝ニ當ルベシ然ル上ハ政費モ必ス過  
半ヲ減スベシ因テ先十箇年ヲ以テ一期ト定メ其制規ノ雇工錢ヲ給シ其外  
方法等ノ如キハ其筋ニ稟議シテ定ムヘキ事

岩谷松平謹而請願書ヲ伯爵伊藤貴族院議長閣下ニ呈ス松平敢テ自ラ搦ラス  
茲ニ尊嚴ヲ冒瀆シ以テ默止スヘカラサルノ衷情ヲ開陳シ閣下ノ清聽ヲ汚カ  
サント欲ス其事實ニ經國ノ一大急務邦家ノ一大長計ニシテ安危ノ機眼前ニ  
迫レルモノナリ即チ我國北門ノ咽喉鎖鑰トモ謂フヘキ北海道ノ現況ニ就キ  
大ニ憂慮スヘキモノ有ルコト是レナリ

熟ラ按スルニ北海道ノ地タル面積六千九百七十七平方里即チ内地三分一以上  
ノ一大陸ニシテ南ハ内地青森ト相對シ東西北ハ露國ト境界ヲ接シ露領舊樺  
太島即チ曩キノ我北蝦夷ハ海水一帯僅カニ十二里ヲ隔テ山川相見ルヘシ而  
シテ其土地ハ豐饒膏腴尤モ農業ニ適ス現ニ其住民ハ人爲ノ肥料ヲ施サス天  
然ノ膏澤ニ依リテ耕作ヲ爲スニ產スル處ノ麥、粟、稗、薯、大豆、甜菜、  
玉葱、麻ノ如キ皆内地ヨリ幾倍ノ好結果ヲ收メサルハナシ殊ニ薯ノ如キハ  
其收穫ノ大ナルヨリ稱シテ五升薯ト呼フニ至ル粟ノ如キハ莖ノ長キコト一  
丈餘穗一尺五寸ヲ過クルモノアリ大豆ノ如キハ一根二百七十餘莢ヲ算シ其  
他徑三尺ノ南瓜二尺ノ西瓜以テ珍異トスルニ足ラス加之ナラス森林鬱鬱ト  
シテ其際涯スル所ヲ知ラス天然ノ桑樹蒼々生茂ス故ニ全道中天然ノ桑園ニ  
依リテ蠶ヲ養フモノ頗ル多シ況ンヤ到處ノ山野ニハ無限ノ礦物疊積タリ  
且ツ内地未曾見ノ大川八十有餘里ノモノ三流アリテ河道其宜シキヲ得四面  
環海運輸交通ノ便魚藻採收ノ利ノ如キハ世ノ悉ク知ル處今詳述セス蓋シ天  
府ノ地地秘ノ藏世界各國多ク其比ヲ聞カサル處ナリ然レドモ其地緯度ハ北  
緯四十一度二十分ニ起リ同四十五度三十分ニ終ル是ヲ以テ世人概シテ北海  
道ハ寒威凜烈勤勉業ニ堪ヘ難キノ棄地トナス豈知ランヤ之レ未ダ該道ノ風  
土事情ヲ知ラサルモノ、臆測ニシテ謬見ノ太甚シキモノト謂ハサル可ラス

抑モ松平ノ望ヲ該道ニ屬スルヤ深且ツ久シ矣是故ニ去二十三年該道ニ渡リ  
四箇月ノ間普ク國中ノ山河ヲ跋涉シ親シク諸般ノ景況ヨリ氣候ノ寒暖農業  
ノ利害等ノコトヲ觀察シタルニ百聞一見ニ如カス事々物々見ルモノトシテ  
感スルモノトシテ悉ク豫想ノ外ニ出テサルハナシ即チ其氣候ノ如キ内地長  
野縣下ヨリモ數度溫暖(北緯北見天鹽ノ兩國最高暑九十六度烈寒十六度)ニシテ新潟、  
秋田縣ヨリモ降雪半ニ過キヌ又タ猶寒中雪ヲ見サルノ溫地サヘ少カラスシ  
テ現ニ四時牛馬豚ノ野飼セラレツ、アルノ地方アルヲ見テモ知ルヘシ況ン  
ヤ之レヲ歐米各國都府ノ嚴寒ニ比スル時ハ其差違果シテ幾ハクンヤサレハ  
北海道ノ氣候ハ敢テ懸念スルニ足ラサルノミナラス寒暖其中ヲ得テ寧ロ人  
意ニ快適シタルモノト云ハサル可ラス且ツ夫レ四方八面ノ海產物ハ實ニ山  
物テスラ之レカ販賣ノ途ニ苦シシ海濱堆ヲ爲シ空シク腐敗セシメ可惜ヲ黃  
土ニ化セシムル有様ナルハ松平ノ實際ニ往々目視シタル所ニシテ亦該道ノ  
事情ニ通スルモノ、能ク知ル所ナリ然ルニ未タ漁獵ニ關スル一定ノ取締規  
則ナク會マ之レアルモ儼然行ハレス故ヲ以テ人民或ハ甲場ニ漁シ乙場ニ獵  
シ甲場盡キ乙場盡クレハ丙ニ行キ丁ニ走リ東西輾轉常ニ定マリナク濫獵縱  
漁日一日年一年ヨリ甚シクシテ海產蕃殖ノ路將ニ自カラ杜絶セントス此ノ  
如キモノ内國人ニ止マレハ尙可ナリ然レモ曾テ灰カニ聞ク所ニ依レハ機敏  
狡猾ナル外商ハ何シカ此豐富ナル該道ノ海產物ニ垂涎シ絶ヘス其近海ヲ巡  
航シテ巧ミニ密獵盜漁ヲ爲シ一航海毎ニ必ス巨萬ノ利ヲ得ルト云フ豈ニ惜  
ムヘク歎スヘキノ太甚シキニアラスヤ

以上述ルカ如ク北海道ハ氣候快適ナリ土地膏腴ナリ森林鬱鬱ナリ礦物無限  
ナリ況ンヤ海產物ニ富メリ之ヲ目シテ幾千萬人ノ生活ニ最適シタル一大豐  
樂之地ト謂フモ豈ニ不可ナランヤ

然リ北海道ハ實ニ天然無比ノ一大豐樂ノ地ナリ混々盡クルナキ一大富源ナ  
リ以是乎我國一朝内地雜居ノ議起ルヤ各國公使領事ヲ始メ敏捷ナル外人等  
ハ早クモ眼ヲ該道ニ注キ竊ニ人ヲ派シ或ハ身自カラ實地ニ至リ氣候風土ノ  
事ヨリ海陸生產物等ノ事ニ付精密ノ觀察ト調査ヲ遂ケ以テ内地雜居ノ曉キ  
ニ至ラハ忽チ一攫萬金ノ利ヲ占メノヲ計畫セリト云フ殊ニ現行北海道土  
地拂下規則ニ據レハ千坪ノ價僅カニ壹圓ニシテ三十ヶ年無稅ノ法ナリ若シ  
今ノ如クニシテ彼ノ雜居ノ時ニ遇ハ、好シ土地所有權ハ之レヲ外人ニ許サ  
ストモ彼等ハ一躍先キヲ爭フテ該道ニ走リ彼等カ智力ト金力トヲ揮フ  
テ到處ノ富源悉ク之レヲ占領シ反ツテ我國國民ニ糟粕ヲ營メシムルヤ瞭々  
トシテ火ヲ賭ルヨリ明カナラン

猶ホ況ンヤ夙トニ猛威ヲ宇内ニ振ヒ多年東洋ノ霸圖ヲ抱キツ、アル所ノ隣

國強露ノ執ル所ノ政略ハ果タシテ如何彼レ露國カ樺太ニ於ケル事業ノ著手  
法竝ニ抄取方ノ一般ヲ見ルモ知ルニ足ラン彼レ露國ハ昨年四月及十月頃ノ  
官報ニ據リテ觀ルモ其政府ハ年々數萬ノ囚徒ヲ該地ニ移シ幾千ノ兵隊ヲ派  
遣シテ開拓ニ警備ニ力ヲ盡サハル所ナシ而シテ著手以來未ダ十星霜ヲ經  
過セサルニ其効果ハ早ク顯然トシテ著ハレ我カ北海道ニ優ルアルモ劣ルナ  
キノ觀ヲ呈セリ夫レ氣候ト云ヒ風土ト云ヒ或ハ交通ト云ヒ其不良不便ナル  
ヲ我北海道ニ於ケルノ比ニアラサル樺太ニシテ露國ノ政畧斯ノ如シ誠ニ盛  
ナリト謂フヘキナリ然リ而露國東漸ノ政畧ハ獨リ此一小部分ニ止マラス俄  
々トシテ烈火ノ如ク四方ニ延ヒントシツ、アルナリ試ミ見ラレヨ彼ノ浦  
潮港ノ如キ其開港以來日尙ホ淺キニモ拘ハラス日々經營ノ熱度ヲ増シ天晴  
レ將來東洋ノ一大軍港タルベキモ尙ホ之ヲ以テ足レリトセス更ニ「イ  
ンペラトル」灣、黑龍江ト浦、近々一軍港ヲ設置セントシ又朝鮮半島ノ東海岸ニ  
一二ノ要港ヲ開カシ「コラエス」府或ハ黑龍江沿岸ノ各府城ニ於ケル經  
營ノ嚴密ナルカ如キ或ハ西比利亞鐵道ノ大ニ工事ノ歩ヲ進メ「バルチック」  
海ハ將ニ數月ノ後ニ我カ日本海ト連接セントスルカ如キ或ハ東洋艦隊ノ益  
々強盛ニ趨キ年々五六艘ノ堅艦ヲ增加スルカ如キ或ハ進ミテ艦艦艦ヲ屢  
ハ我北見國宗谷灣ニ入レ以テ窺カニ計畫スルカ如キ一聞誰カ慄然トシテ肌  
粟ヲ生シ以テ彼レ露國カ經營ノ偉大ナルニ驚カサル者アラシヤ  
斯ノ如ク露國カ樺太ニ於ケル政略ノ汲々トシテ日モ維レ足ラサルカ如ク軍  
備擴張ニ忙ハシキハ抑モ必要のニ出ツルカ急務のニ出ツルカ若シクハ防禦  
的のニ出ツルカ將タ侵略的のニ出ツルカ此等ノコト固ヨリ容易ニ斷言シ難タシ  
ト雖モ蓋シ今日マテノ形迹ヲ以テ之レヲ觀レハ彼レカ夙ニ侵略的政略ヲ抱  
ケルヲハ掩フヘカラサルノ事實ニシテ今ヤ歐陸各國旗幟正ニ相見ントスル  
ノ危機ニ迫リ居ルヲ以テ幸ヒニ東顧ノ欲ヲ恣ニセサルカ如シトイヘハ露國  
ハ素ト氷點ノ位置ニシテ東暖ノ地位ニ向テ武歩ヲ進ムルハ天則上ヨリスル  
モ自然ノ理勢ニシテ苟モ一朝機會ノ乘スヘキアラハ手ニ唾シテ我北境ヲ席  
卷シテ彼レカ版圖ニ歸セシメントスルノ恐ルヘキ深謀遠慮タルヲ推シテ知  
ルヘキノミ我國民タルモノ焉ソ優悠自適快然トシテ日ヲ消スルノ時ナラン  
ヤ

力何ヲ以テカ能ク該道ノ繁盛發達ヲ望マンヤ素ヨリ内外國事多端ノ秋限リ  
アルノ財力ヲ以テ限リナキノ事業ヲ經營セントスルヲナレハ強チ責ヲ政府  
ニ歸スヘキニハアラスト雖モ二十三年間ノ經營ニシテ今日ノ有様ナルハ豈  
慨嘆ノ至リナラスヤ殊ニ露領樺太ト人屋相望ミ一朝事アルハ忽チ大艦艦  
艦ノ襲フ所ト爲リ彈丸雨注ノ地ト爲リ地形上ヨリスルハ北門ノ極端咽喉  
トモ鎖鑰トモ謂フヘキ絕大樞要ノ地タル北見國宗谷ノ如キハ戶長一名書記  
一名ノ役場アルノミニシテ郡衙ナク警察署ナク海防陸禦ノ軍備更ニ一モ之  
レアルヲ見ス而シテ其郡衙ハ六十餘里ヲ隔ツル増毛ニアリテ增毛、留萌、  
宮前、天鹽、中川、上川、宗谷、利尻、禮文、枝幸、ノ十郡數百里間ヲ管  
轄セルノ有様ナリ  
軍備警察共ニ必要ナル露領最近ノ宗谷ニシテ既ニ此ノ如シトハ豈優柔弛緩  
危險千萬ノ有様ト謂ハサルヲ得ンヤ  
凡ソ優柔緩慢ナル政畧ノ結果ホト世ニ恐ルヘキモノハアラス何トナレハ彼  
レ樺太島即チ曩キノ我北蝦夷カ途ニ隣露ノ版圖ニ歸シタルハ佛國カ烈戰數  
十回ノ後「アルサス」「ローレ」ノ二洲ヲ獨逸ニ割キタルカ如キ或ハ合衆國  
カ嚴談數百金ヲ抛ツテ「アラスカ」地方ヲ露國ヨリ買取リタルカ如キ例ニアラ  
スシテ則チ德川政府ガ殖民ノ政略優柔緩慢ナルヨリシテ空談往復ノ間ニ彼  
レ露國ニ徒手占領セラレタレハナリ嗚呼往時ノ我北蝦夷ハ既ニ隣國ノ占ム  
ル所ト爲レリ今ノ南蝦夷即チ北海道モ優柔今日ノ如クニシテ經過セハ焉ソ  
異日前轍ヲ履マザルヲ保センヤ若シ夫レ一旦露馬北見ノ野ニ嘶キ露旗宗谷  
ノ濱ニ飄ルニ至テハ我カ帝國ノ安危未タ知リ易カラサル也  
凡ソ天下ノ禍ハ常ニ幽微ノ間ニ存ス而シテ其起ルヤ必ラスシモ遠因ト近因  
トノ二者ナクシハアラス今夫レ消極的ノ論鋒ヲ以テスレハ露國カ樺太ニ於  
ケル殖民政略、軍備擴張、及ヒ外人秘密調査ハ將ニ我國ニ禍ノ起ラントス  
ル遠因ト云ハサルヘカラス而シテ陽氣ノ久シク地中ニ鬱積スルヲ知ラス徒  
ラニ霹靂ノ暴發スルヲ見テ始メテ之レカ防禦ニ著手スルカ如キハ時已ニ晚  
シ熱心國ヲ愛スル我國民ノ爲スヘキ所ニアラサルナリ  
今不肖松平カ國家ニ對スル國民ノ義務トシテ或ハ國家ノ一大急務トシテ採  
納アラソコトヲ請願スル所以ノ者ハ蓋シ之ニ存スルナリ而シテ敢テ其策ヲ  
茲ニ開陳スレハ  
全國囚徒ノ内二箇年以上ノモノヲ北海道ニ移シ適當ノ法ヲ設ケテ該道開  
拓漁獵ノ事業ニ服役セシムルコト  
最近調査ニ係ル統計表ヲ一覽スルニ全國囚徒毎年平均七萬餘人アリ之レ  
ニ對シテ政府カ年々消費スルモノ數百萬圓地方稅ノ要スル所モ亦四百萬  
圓ヲ下ラス八千萬圓ノ歲入ニ對シテ豈巨額ナラスヤ而シテ該囚徒中ノ過

半數ハ二犯若シハ三犯以上ノ者ニシテ決シテ初犯ノ者ニアラス乃チ政府カ下ス所ノ懲戒法モ亦全ク遷善悔過ノ望ヲ達スルニ足ラスシテ遂ニ此ノ不祥ノ現象ヲ見ル亦哀シカラズヤ不肖松平此懲戒法ヲ極メテ著實ニ改良シ其力ニ依リテ北門ノ開拓警備ノ補助トナサンコトヲ熱望スル日實ニ深シ而シテ其法タル即チ地方稅ノ數百萬圓餘ノ巨額モ轉シテ國庫支出ニ充テ囚徒ヲ該道ニ移シ開拓及ヒ漁獵等ノ事業ニ服從セシムルトキハ必ス左ノ好結果ヲ生スヘシ

一從來囚徒カ内地監獄ニアリテ諸般ノ役業ニ服シタル爲メ毒カラサル影響ヲ被リ來タリタル地方細民ノ雜業ヲ回復スルト同時ニ地方衰微ノ一原因ヲ撤去スルヲ得ヘシ

二内地惡漢ノ數ヲ減少シ隨テ良民ヲ增加スルニ至ルヘシ

三北海道ノ住民ヲ増加シ土地ヲ開拓シ物產ヲ振興スヘシ

右第一ノ結果ヲ見ル所以ハ需要供給増減ノ理ニ於テ之ヲ詳述セサルモ明白ナリ第二第三ノ結果ニ就キ略述センニ

凡ソ人タル者ハ恒ノ產ナキモノハ恒ノ心ナク窮スレハ則チ濫シ衣食足りテ禮節ヲ知ルトハ古人ノ格言ナリ抑モ從來彼等カ囚徒ニ入ルノ所以ハ多クハ衣食ニ窮スルヨリシテ道德ニ反キ隨テ法律ヲ犯シ而シテ一旦獄裡ニ繋カレ期滿チテ出ツルヤ歸ルニ家ナク家アルモ產ナシ自然ノ結果トシテ再ヒ不良ノ必ヲ發スル者ノ常態比々皆然ラサルハナシ今斯ル囚徒ヲ北海道ニ移シ常ニ暖衣飽食セシメ暇アレハ即チ勉メテ因果應報ノ理ヲ説キ懇切ニ教誨シテ改惡遷善ノ道ニ導キ尙且土地ヲ給シ事業ノ利金ヲ積ミテ他日ノ資金ニ充テ以テ一生ノ計ヲ授ケンカ設ヒ彼等市井ノ無賴閭巷ノ惡漢ナリト雖トモ遂ニハ感化慘改土著ノ念ヲ生センコトハ必然ナリト信ス果シテ内地ノ地方ニ惡漢ヲ減シ該道ノ戸口ハ益々繁殖シ海陸ノ產物愈

ヨ振興シ不毛廣漠ノ野變シテ農饒ノ美田沃地トナリ遠キヲ出スシテ内地ノ如ク殷富繁盛ニ至ルヤ敢テ疑ハサル所ナリ愚見ニシテ違ハスンハ彼ノ外人ノ蹂躪何ゾ懼ル、ニ足ランヤ彼ノ隣露ノ覬覦何ゾ憂ルニ足ランヤ加之ナラス我國北門ノ鐵壁鎖鑰ハ期セスシテ鞏固ト爲ルヲ得ン是レ豈ニ國家長久ノ大計ニアラスヤ

終リニ臨ンテ一言ノ贅スヘキアリ他ナシ今ヤ政費節減ノ沙汰囂々紛々タル時ニ際シス、ル請願ヲ爲ス人或ハ費用ノ増加ヲ憂ルモノアラソ然レトモ是レ謬見ノミ唯地方稅ヲ國庫支出ニ改メテ政府ノ負擔ト爲スノ變更アルニ止リ前記ノ如ク箇々人々ノ負擔ハ却チ必ス輕減スヘシ何トナレハ全國箇々ノ經營ヲ一括シ又タ事業ノ利益アレハナリ

好シ又タ數年ノ間事業ノ利益著シカラス收支相償ハストスルモ遠カラス

シテ莫大ノ巨利ヲ收ムルハ言ヲ待タサルナリ且夫レ罪人ハ設ヒ如何ナル費用ヲ要スルモ社會ノ秩序安寧ヲ維持スル爲メ(其罪惡ハ惡ムヘシト雖トモ)是非トモ養撫シ以テ良民ニ感化スルヲ勉メサル可カラス斯ク辯シ來レハ從來ノ如ク地方ノ監獄ニ養フテ從服セシムルト北海道ニ養フテ服役セシムルトハ其利害得失果シテ如何ンヤ況ンヤ北門警備ノ一點ヨリ見ルトキハ最大緊要ノ一大事件ナルヲヤ

夫レ松平ハ市井ノ一商賈タルノミス、ル重大ノ問題ニ關シテ憚カラス請願スルカ如キハ僭越ノ譏ヲ免レスト雖トモ決シテ卓上ノ空論空望ニアラス又タ一身ノ射利ヲ欲スルカ爲メナラス實ニ該道ヲ今日ノ如ク放棄シ毫モ顧ミサルハ國家ノ爲メ憂慮スヘキ一大事ナリト信シ螻蟻ノ誠情默過スルニ忍ヒス聊カ管見ヲ吐露スル所以ナリ幸ヒニ我同胞四千萬人ヲ代表スル議會ニ於テ國家的大問題トシテ之レヲ講究セラレ請願ノ第一要點ヲ聽納シ併セテ日夜憂慮措カサル松平ヲシテ事業經營ノ衝ニ當タルヲ許サル、ニ於テハ粉骨墮身以テ必ス著明ナル實効ヲ奏センコトヲ天地ニ誓フテ之レヲ期セン、商賈元來文辭ニ嫻ハス意切ナルモ筆速ハス伏シテ希クハ 閣下宜シク之ヲ裁セラレンコトヲ岩谷松平誠恐々々頓首謹而請願ス

明治二十四年一月十日

○侯爵蜂須賀茂韶君 此請願ハ只今書記官ガ朗讀ニ相成リマシタル通りノ理由ヲ以テ政府ニ送付相成ルベキ方ト委員會ニ於テ議決ヲ致シマシタ、是レハ餘程重大ナ問題デゾザンシテ中々言フガマ、ニ行ハレ難イコトモ往々アルカモ知レマセヌガ、ドウモ憂國ノ情ニ於テハ棄ツベカラザルモノト存ジマス、兎ニ角、參考ノタメニ政府ニ送付ニ相成ツテ宜シカラウト云フ主意デゾザンス、別段申シ述べルコトモアリマセヌ、簡短ニ右ノ理由ヲ陳述イタシマス、

○小畑美稻君 本案ハ却下スベキモノデ本院ニ於テ受理スベキモノデ無いト考ヘマス、本院ニ於テ受理イタシマスノハ憲法ノ第三十條ニ基キ人民ノ請願ヲ受理スル譯デ……憲法第三十條第五十條ニ基キ人民ノ請願ヲ受理スベキモノデアリマス、議院法第十三章ニモ其コトガ委シタル、此法律ニ依テ本院ハ受理スベキモノデアリマス、此法案ハ決シテ請願ニアラズシテ建白書デアルト考ヘラレマス、請願ト申シマスルモノハ請願人ノ一身ノ利害ニ關係スルコトヲ哀願スルガ即チ請願デ、菓子商ガ菓子稅ノ過重ニシテ賣上高ニ課稅セラル、ニ付テハ甚ダ手數ガ掛ル爲シ得ラレスコトデアルカラ之ヲ改正ニ成リタイトカ、酒造人ガ酒造稅ガ過重ニシテ且ツ清酒ニ就テ檢査ヲスルハ甚ダ手數ダカラ官民俱ニ無用ノ時間ヲ費スニ依テ之ヲ諸味デ檢査ヲ受クルヤウニスルガ宜イトカ云フ即チ一身ノ商業上ニ大ニ利害ノ關係スルコトデアリマ

ス、本案ハ全ク本人ノ一身上ノ利害ニ少シモ關係ガ無クテ只國家ノタメニ斯  
クスレバ大ニ利益デアアル御爲デアアル斯クアツテハ甚ダ國家ノ不利益不爲デア  
ラウト云フコトノ建言デアリマス、成ルホド此本人ガ國家ノタメニ斯クノ如  
キコトヲ建言スルハ如何ニモ衷情嘉ニスベキコト感ズベキコトデアリマスガ  
是レハ請願ト云フモノデハアリマセムカラ本員ニ於テハ規則ニ於テ受理スベ  
キモノデ無クシテ却下スベキモノト考ヘマス、諸本員ハ二十日二十一日ノ議事  
ニ所勞デ不參ヲ致シマシタガ、ドウモ此請願ノコトニ付テハ本院ニ於テ取次  
イデ政府ニ送付イタシマセムケレバ言路ガ壅塞スルヤウナ御考ヘノ諸君モア  
ツタヤウニ考ヘマス、就中岡内君村田君ノ御説モ速記録デアリマシタガ、岡内  
君ハ孝明天皇ハ銅鑼ヲ懸ケテ言路ヲ御開キニナリマシタカラ夫レニ倣ッテ  
……ト云フ御説モアリマシタシ、村田君ハ之ヲ取次イデ政府ニ送付シテ下情  
ヲ上達スルヤウニシナクレバナラス、夫レヲ此所デムヅカシク言ツテ取次ガ  
スト下情ガ貫徹セスト云フ議論デアリマシタガ、決シテサウ云フ譯デハ無  
イ、憲法ノ第三十條ハ請願ハ天皇陛下ヘデモ各官衙ヘデモ向ツテカラニ隨  
意ニ人民ガ請願スルコトデ 孝明天皇ガ鐘ヲ懸ケテ言路ヲ御開キニナリマ  
シタヨリハ普ク……此憲法第三十條ハ通ジテ請願ガ自由ニ出來ルコトニナッ  
テ居リマス、是レナラバ人民ハ各官衙ニ向ツテモ自由ニ請願スルコトハ出  
來マス、然ルニ之ヲ議院ニ出シテ議院ガ之ヲ何セ受ケルカト申セバ、行政官  
ハ甚ダ繁忙デアアルカラ直チニ各官衙ニ出セバ或ハ繁忙ニ紛レテ筐ノ底ニ收マ  
ツテシマフ、夫レヲ議院ニ出セバ議院デ是レハ採擇スベキモノト認メタラ政  
府ニ送付スルヤウニナリ、サウナレバ政府モ又之ヲ忽諸ニ付セラレヌ譯デ、  
先ツ言ハバ人民ガ各官衙ニ隨意ニ出スヨリハ議院ニ出セバ議院ノ保證ヲ受ケ  
テ政府ニ送付スルコトニナリ政府ガ等閑ニセスト云フヤウナ譯デ議院ニ出ス  
譯デアリマスガ、二十一日ニ蜂須賀侯爵ノ緊急問題トシテ出サレタヤウニナ  
リマシテハマルデ議院法ノ第六十五條ノ採擇スベキコトヲ議決シタトキハ意  
見書ヲ付シ其請願書ヲ政府ニ送付シタルノガ徒法ニ屬スルト考ヘマスルガ  
左様ナ御考デ簡様ナ建白書ヲ此議場ノ議ニ付セラル、ヤウニナリマシタコト  
ト存ジマスガ、是レハ決シテ本院ニ於テ受理シタウテモ受理ノ出來ヌモノト  
考ヘマスカラ却下ニ……

○男爵千家尊福君 本員モ當請願書ハ却下スベキモノ……廢棄スベキモノ  
デアラウト存ジマス、如何トナラバ請願委員ノ取調ニ係ル所ヲ見マシテモ其  
方法ニ至テハ悉ク採ルベカラザルコトモアルガ憂國ノ情業ッベカラザルモノ  
ガアルニ依テ是レハ採擇スルト云フ……重ニ志ヲ賞シテ之ヲ採擇スルト云フ  
請願委員ノ主意デアアルカト本員ハ認メテ居リマス、然ルニ茲ニ請願ノ方法ト  
云フ所ヲ讀ンデ見マスルト全國ノ囚徒七万人ノ内刑期二箇年以上ノ者二万人

ヲ北海道ニ移シテ開拓ノ事業ニ從事サセタイ趣旨デアリマス、此ノ如ク十萬  
ノ囚徒ヲ北海道ニ移スノハ國家ノタメニ我々ガ將來ニ向ツテ最モ望ム所  
北海道ヲシテ罪惡不徳義ノ地ト爲ラセメントスルノ端緒ヲ啓クモノデア  
ラ國家ノタメニ我々ハ大ニ憂ヘマスル次第デアリマス、況ヤ本請願ニ至テハ  
只囚徒二萬ヲ北海道ニ移スト云フニ止ツテ其移シマシタル以上ノ取締ノ方法  
ニ至テハ更ニ明記シテアリマセム、然レバ此請願書ニ於テハ決シテ本院ニ於  
テ採擇スベキ價值アルモノトハ認メマセムカラ、ドウカ滿場ノ諸君ニ於テモ  
此ノ如キ國家重大ノ問題ニ關係スル所ノ請願書ハ宜ク本院ニ於テ充分ナル研  
究ヲ遂ゲテ如何ニモ國家將來ニ對スル本院ノ定見ノ立ツタル上ニ於テ取捨ス  
ベキモノデアラウカト存ジマスルカラ、先ツ此請願ハ本日ノ所ハ廢棄セラレ  
ンコトヲ滿場諸君ニ對シテモ本員ハ深ク希望スル點デアリマス、

○男爵小松行正君 私モ千家君ノ述べラレマシタ通り衆望ノ屬スル北海道  
ヲシテ罪惡不徳義ノ地トナシ罪人ガ充分北海道ニ蔓ルノハ大ニ好マス所デア  
リマス、且ツ愛國心ガアルトハ申シテモ罪人ガドレホド北海道ノ警備ニナリマ  
スルデゴザイマセウカ一向ニ分ラヌコトト思ヒマス、畢竟委員ガ審査ラセラ  
レテ此議場ノ議ニ付スルモノト議決セラレマシタノハ愛國ノ情業ッベカラザ  
ルモノデアアルカラ採擇スベキモノデアルト云フコトニナリマシタモノト見エ  
マス、併ナガラ全體ノ趣意ト云フモノハドウモ本員等ガ考ヘルト採擇スベキ  
丈ケノモノデハナイト存ジマス、故ニ廢棄アラソコトヲ希望イタシマス、

○子爵谷干城君 委員長ニ少シ質問ヲ致シタウゴザイマス、此請願現物ハ  
本員ハ見マセデスガ、配付シタ所ノ……岩谷ナル人ヨリ配付シタ所ノモノ  
ヲ見マスルト第一ニ其文書ニ北海道ヲシテ現今ノ如ク政府ガ冷淡視シ置カル  
トキハトアツテ即チ冷ヤカニ淺ク視ルト云フ文字ガアリマス、又サキヘ行  
キマシテ實ニ該道ヲ今日ノ如ク放棄シ毫モ顧ミザルハ國家ノタメ憂慮スベキ  
一大事ナリト云フ文字ガアリマスガ、本人ノ差出シマシタ原案ニモ果シテ其  
通りノ文字ガゴザイマスルカ御質問ヲ致シマス、

○侯爵蜂須賀茂韶君 如何ニモ其通りノ文字ガゴザイマス、  
○子爵谷干城君 先刻ヨリ段々御論ガゴザイマシタガ、小畑君ノ申サレタ  
御論ハ甚ダ窮屈ナル御論ト心得テ居ルユエ御同意ハ出來マセム、是レハ曩キ  
ニ蜂須賀侯爵ノ緊急動議デ成リ立ツタ所ガ相當ノコトト信ジマス、然ルニ其  
時分ニモ申シ述ベマシタル通り凡ソ此議場ニ於キマシテカラニ可ト認メテ出  
シマスル以上ハ……即チ其時分ニモ申シ述ベマシタル通り内閣官制ノ第五條  
第五項ニ掲ゲテアリマスル通り是レハ政府ノ閣議ニ掛ルベキモノデ、是レハ中  
々容易ナモノデハゴザイマセム、是レハ隨分吟味シテ出サンナラヌコトハ其  
節ニモ……精神ハ三浦君ノ申サル、通りデアルクレドモ其手續ニ於テハ蜂須

賀侯爵ノ希望ノ通りニセチバナラスト申シ述ベテ置キマシタガ、此ノ如ク政府ガ冷淡視シ置カル、ト云フヤウナ文字ト云フモノハ甚ダ請願ノ體ニ齟齬シタル不都合ナル文字デゴザイマス、且ツ又今日ノ北海道ハドウ政府ハ致シテ居リマスルカ、明治ノ初年ヨリシテカラニ決シテ放棄シテ願ミズト云フコトハアリマセヌ、夥シイ金ヲ費シマシテ……其成功ハ十分デ無イカモ知レマセヌガ誠ニ心配シテ居ラル、コトト思ヒマス、夫レニ以テ此ノ如キ文字ヲ出スノハ甚ダ不都合ト考ヘマス、之ヲドウモ請願委員ノ諸君ガ取ルベキモノトシテ差出サルルハ抑、間違ヒト思ヒマス、無論是レハ通過スベキモノデナイト存ジマス、

○男爵小澤武雄君 本員モ此請願ハ棄却スベキモノト思ヒマス、本員ハ請願委員會ニ於テ會議ニ付スベキモノデナイト申シ述ベマシタガ少數ニシテ成リ立チマセナカッタ、此請願ハ是レマデ諸君カラモ種々御説ガ出マシタガ、隨分不都合ナ事柄ガ多イト最初ヨリ考ヘテ居リマス、此請願ノ趣意ハ囚徒ヲ移シテ北海道ノ殖民ト警備ノ二ツヲシヤウト云フコトデアリマスルガ、良シ此事ガ行ハレテ囚徒ヲ移シタ所デ殖民ノ事業ノ幾分ヲ助ケルコトハ或ハ出來ルカモ知レマセヌガ、警備ト云フコトハタメニ囚徒ヲ移シテ……警備ノ用ヲ達セヤウト云フコトハ甚ダ間違ッタコト決シテ出來ナイコトデアル、是レハモウ別段審カニ申サヌデモ諸君ノ御了解ノコトト存ジマス、若シ此囚徒ヲ北海道ニ移スコトヲ當局者ニ於テ難儀トスルナラバ請願人自ラ其衝ニ中ツテ云々ト云フコトデゴザイマスガ、是レ亦不當ナコトト考ヘマス、此囚徒ヲ移スニハ夫レ集治監ナドト云フ官署ヲ設ケテ之ヲ使役セチバナナイ、囚徒ヲ取扱フコトハ即チ法律規則ニ依テ定ツテ居ル事柄デアル、夫レ一己人トシテ引受ケテヤラウト云フコトハ決シテ出來ナイコトデアル、若シ斯様ナ請願ヲモ通過シテ可決ニナルヤウナコトガアリマシタレバ人民ハ如何ナル請願ヲ持ツテ出ルカモ知レマセヌ、是レハ甚ダ弊害ガ多イト思ヒマス、且ツ此囚徒ヲ移スコトハ能ク新聞紙ナドニアルノしやガズベリや、からふと等ヘ人民ヲ移スコト云フコトカラ思ヒ付タモノカト思ヒマスルガ、一體囚徒ヲ以テ北海道ノ警備ニ充テルコトハ今日デハ行ハレテ居ル、即チ空知樺戸其他釧路等ニ先年カラ集治監ヲ置カレマシテ、隨分北海道廳ニ於テモ出來ル丈ケノコトハシテアリマスルノデ、決シテ是レハ珍ラシイ説デモナシ、又前ニ申シ述ベマシタ通り色々ノ不都合ガアリマスルカラ、全ク是レハ棄却ニナツテ仕舞フベキモノト考ヘマス、

○侯爵須賀茂韶君 チツヨト小畑君千家君並ニ小澤君ノ御説ニ付テ一應チヨツト……諸君ハ廢棄トカ棄却トカ云フ御説デゴザイマシタガ、其廢棄ト云フコトハドウナサルコトデアラウカ、夫レヲ能ク伺ツテ置キタイト思フ、

是レハ却下ト云フコトト、夫レカラ請願ヲ受ケテサウシテ會議ニ付セサルモノト致スト、會議ニ付スルモノトスルトノ三ツゴザイマス、夫レデ小畑君ハ却下ト仰ツシヤイマシタカラ全ク下ゲテ仕舞フト云フ御主意ト思ヒマスガ、併シ千家君小澤君ハ廢棄ト云フ、其廢棄ト云フハ會議ニ付スルヲ要セヌト云フノデ、受ケルハ受ケテ留メテ置クト云フノデゴザイマセウカ、其所ヲ判然ト御定メニナリマセヌト大層決議ノ時分ニ混雜ヲ致スト思ヒマス、デ其主意ヲドチカラ御定メヲ願ヒタイト思ヒマス、

○男爵小澤武雄君 今蜂須賀侯爵カラ御尋デゴザイマシタガ、本員ノ考ハ即チ之ヲ廢棄ニシテ政府ヘ送付スルニ及バナイト云フ趣意デゴザイマス、○男爵千家尊福君 只今蜂須賀君カラ御尋デゴザイマシタガ、本員ノ廢棄ト申シマシタノハ小澤君ノ陳述ノ通り之ヲ政府ヘ送付セヌト云フノデ、即チ會議ニ付スルヲ要セナイト云フ趣意デゴザイマス、

○子爵松平信正君 本員ハ本請願書ハ貴族院ニ於テ採擇スベキ請願ナリト云フ考デアリマス、請願委員諸君ガ之ヲ採擇シテ議場ノ議ニ付セラレタノハ私ハ適當ナ決議決ト信ジテ疑ヒマセヌ、其理由ヲ短簡ニ申シマスルト抑、北海道ヘ囚徒ヲ移スコト云フコトハ昨今ニ始マリマシタコトデハゴザイマセヌ、即チ明治十二年頃カラ北海道ヘ囚徒ヲ移シテ該地ヲ開拓セシムルハ現政府ノ取ル所ノ方針デアリマス、即チ安村月形渡邊ナド云フ人々ガ段々盡力ヲ致シマシテ、實ニ只今モ空知樺戸釧路ノ三集治監モ建ツテ居リマスルクラ井、其三集治監ヲ置カレタニモ拘ハラズ僅ニ二年々囚徒ヲ送ルコトハ六百名ニ過キマセヌ、即チ二十四年度ノ豫算ハ僅々六百名ヲ送ル譯デ、在來ノ囚徒ヲ合シテモ三千餘リ四千ニハ超エマセヌ、此ノ如キ微々タル囚徒ノ移シ方デハ北海道即チ十一箇國ヲ拓クニハ何時マデ掛ルカ分リマセヌカラ、此請願人ハモソツト早ク拓キタイト云フ主意デアル、政府ハ僅ニ二年々六百名シカ移サヌモノヲ之ヲ増シテ二萬人移サウ、其二萬人移スノハ我自ラ其責任ニ當ラウト云フノデゴザイマス、小畑君ハ是レハ請願デハナイ建白ダト言ハレマシタケレドモ、此請願書ノ文面ヲ見マスルト、即チ私ガ囚徒ヲ移シタイ、私ガ其事ヲ執ツテ即チ政府ノ入用ヲ掛ケズ、政府ノ不便ヲ致サヌヤウニシテ囚徒ヲ移シタイト云フ即チ一己人ノ請願デアリマス、小畑君ハ此文面ヲドウ見ラレタカ存ジマセヌガ、是レハ請願ノ體ニアラズト云ハレタ、若シ小畑君ノ説ノ通りナラバ即チ國權擴張ノ請願ニシロ、市區改正ノ請願ニシロ、法律十二號廢止ノ請願ニシロ、皆是レハ建白デアツテ請願ト云フモノハ一モナクナツテ仕舞フト存ジマス、小畑君ハドウ云フコトニ此文章ヲ御覽ニナリマシタカ本員ハ少シモ解シ兼チマス、又千家君ハ之ヲ目シテ北海道ヲ罪惡不良ノ徒ヲ以テ充満セシムル請願ダト云ハレマシタケレドモ只今申ス通り不良ノ徒ヲ北海道ヘ

移スト云フコトハ獨リ此請願ニ始マラズ即チ現政府明治十二三年以來ヨリ取  
ル所ノ方針デア、果シテ罪人ハ皆終身罪人デア、一旦罪ヲ犯シタモノハ  
終身罪人デアリマセウカ罪惡不良ノ徒ト雖モ北海道ノ無人境ニ往ツテ朝夕勞  
働シテ前非ヲ後悔スレバ夫レガ良民ト成ルカト思ヒマス、良民ニナレバ即チ  
警備兵ニ組ミ込ムコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、即チ北海道ヘ往ツテ良  
民トナルデゴザリマセウ、此事ニ就キマシテハ即チ北海時論其他ノ雜誌ニ北  
海道三十七萬ノ良民ヲシテ罪惡不良ノ徒ト伍ヲ爲サシムルヤト云フテ此請願  
書ニ對シテ駁撃シテアリマスガ本員ハ決シテサウ云フ様ナ説ハ信ジマセス、  
罪人ハ其罪惡ヲ悔悟スレバ即チ良民トナルト考ヘテ居リマス、ドウカ此請願  
書ハ哀願ノ體ヲ具ヘ又其主意タルヤ充分現政府ノ方針ニモ副ヒマスルコトデ  
罪惡不良ノ徒ヲシテ北海道ニ移ストスレバ北海道ヲシテ忽チ開拓殖民ノ實効  
ヲ奏セシムルニ必要ナル請願ト信ジマス、序デニ申シ上タウ存ジマスルガ  
本員ハ北海道ノ事ニ就テハ熱心デアリマシテ北海道ヘハ二度迄モ參リマシテ  
北海道ノ事ヲ研究シマシタ其所デ北海道ヲ拓クニハ第一ニ士族ノ移住第二ニ  
屯田兵第三ニハ囚徒ヲ移スト云フコトデアリマシテ士族ノ移住ニ於キマシテ  
ハ即チ伊達藤五郎氏主從ガ有珠郡ヘ移リマシタノハ即チ御承知デモアリマセ  
ウガ既ニ沃野千里ノ觀ヲナシテ充分ニ開墾ガ届イテ居ルデハアリマセスカ其  
次ハ屯田兵デ山鼻琴似等ノ各村々ガ能ク開ケテ居リマス、次ニ囚徒ヲ移スト  
云フコトハ即チ是レ迄ニ樺戸空知釧路ノ三集治監ガアリマシテ此三集治監ニ  
三千人餘リノ囚徒ヲ置キマシテ道路ノ開拓ヲ何カニ此囚徒ヲ使ツテ此囚徒ノ  
タメニ追々開ケルト云フ様ナモノデアリマスカラ此請願ハ誠ニ必要ナモノデ  
アル即チ政府ヘ送付スベキモノト信ジマス、

○小幡篤次郎君 私ハ此岩谷松平氏ノ請願ハ採擇シテ政府ヘ送ルベキモノ  
トハ思ヒマセス其所以ヲ一言述ベマスルデゴザリマスルガ先日蜂須賀侯爵ノ  
緊急動議ニハ私ハ反對ヲ致シマシテ其反對説ハ少數デ破レマシテゴザリマス  
カラシテ夫レハ彼レ是レ今日論ズルコトハ無用ナコトデアリマスガ夫レ又  
今日此請願ノコトニ就キマシテ議論ヲシマスハ何カ負ケ惜ミヲシマスル様ニ  
聞エマスト甚ダ遺憾ニ思フコトデゴザリマスデ全ク別ノ主意デ申シ上マス、  
ドウゾ皆サン公平ニ御判斷ヲ願ヒタイ、此請願ノ主趣ヲ見マスルト二万人  
以上ノ囚徒ヲ北海道ニ移シテ開拓ノ仕事ヲサセヨウト斯ウ云フ事デゴザリマ  
ス、サウシタナラ地面モ拓ケララウト請願者自身ガ其任ニ當リマシテ仕事  
ヲ遣リマセウト云フノデアリマス、サウシタナラバ政費ノ半直段デ出來ルダ  
ラウト云フヤウナコトガ重モナル箇條ノ様ニ見エマス、是レハ一體何ソト申  
ス請願ノ意味デゴザリマセウ全體請願ト云フモノハ憲法第三十條ニ日本臣民  
ハ相當ノ敬禮ヲ守リマシテ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ請願ヲ爲スコトヲ得マ

スルト云フコトデゴザリマスガ此請願ヲ爲シマスコトヲ御許シニナリマシタ  
ノハ即チ人民ノ權利ニ先ヅ何等カノ障害ガアリマシテ妨ダラレルコトガアッ  
テハナラヌ、夫レヲ伸張スルガタメ請願ノ權利ヲ御許シニナリマシタ、議院ガ  
亦夫レヲ伸張サシテヤル方法ヲ議スルガタメニ之ヲ受取ルノデゴザリマス、  
夫レデ臣民タルモノノ一人デアリマスルナリ或ハ法人デゴザリマスルナリ其  
身體財產或ハ榮譽等ノコトニ就キマシテ何等カノ妨害ヲ受ケマシタ時ハ夫レ  
ヲ相當ノ敬禮ヲ守リマシテ請願シタトキハ哀願ノ體ヲ具ヘ嘆願ノ書付ヲ出シ  
マシタトキハ議院ハ之ヲ受ケテ委員ノ審査ニ付託シテ採擇スベキモノデア  
カ採擇スベカラザルモノカト云フコトヲ御評議ニナリマスルノデゴザリマ  
ス、然ルニ此請願ト申シマスモノハ一個人ニ切實ノ利害ノアルモノデハゴザ  
リマセヌ斯ル囚徒ヲ移シテ北海道ヲ開拓シヤウト云フコトハ或ハ内務大臣ガ  
此囚徒ヲ……内國ノ囚徒ノ始末ヲ考ヘラレマシテ是レハ北海道ヘ移シテ荒蕪  
ノ地ヲ耕ヤスノニ用井使ツテ見ヤウガドウシタラ經濟トナルカ又囚徒ノ始末  
ハドウシタラ宜カラウカト云フコトヲ心配サレテ出サレベキモノデ、サウア  
ルベキコトデゴザリマス、之ヲ内閣ヘ申シ出サレテ法律案トナツテ此議院ヘ  
出マス、衆議院デゴザリマススカ或ハ又貴族院デゴザリマス、ソコデ此議院  
致シマスルノハ尤モナコトデゴザリマス一個人カラ斯ウ云フ請願ヲ出シマス  
ト云フハ寔ニ譯ノ分ラスコトデ惡ク申シマスト是レハ嗚呼ノ申シ方ト申シマ  
セウ、又憲法ノ中ニ建白書ヲ受ケルト云フコトハ一箇條モ見エテ居リマセヌ、  
夫レカラ憲法ニゴザリマセスカラシテ議院法ニモ亦ドノ箇條ヲ見マシテモ建  
白ヲ受ケルト云フ箇條ハ頓トゴザリマセヌ、此建白ト申シマスルモノト請願  
ト申シマスルモノトハ以前ニハ區別ナク建白書ヲ或ハ請願書ノ如クニ考ヘマ  
シテ建白書モ請願書モ同ジコトニ混雜サレテ居リマシタノデアリマシタガ此  
憲法ガ御定メニナツテ請願ヲシロト斯ウ云フコトニ法律ガ極マリマシタ以上  
ハ請願ト申シマスルモノハ一箇人或ハ法人ガ權利ヲ枉屈サレマシタ時ニ其權  
利ヲ伸バスタメノ請願デゴザリマス、夫レチ只文字ガ哀願ノ文章ニ書キマシ  
テモ其申シマスルコトハ全ク建白デゴザリマシテ此建白ト申シマスモノヲ爲  
シマスニハ今日ハ一向建白書ヲ受取ル場所モゴザリマセヌ、又建白ヲシテ宜  
イト云フ箇條モゴザリマセヌ、其建白ノ文言ヲ見マスレバ哀願デハナクテ居  
テ仕舞ノ方ニハ哀願仕候ト云フサウ云フ文字ガアリマシテ請願トスルコトナ  
ラバ際限モナキ請願書ニナル、斯ノ如キ請願書迄モ御受取ニナリマスルカラ  
請願委員ハ忙ガハシクテ是レ亦日モ足ラズト云フノデ大變御忙シイコトト思  
ヒマス、此請願書ヲ能ク御覽ニナレバ其實ハ建白デアッテ請願トハ違ッテ居  
ルカラ斯ウ云フモノハ、サツサト片付ケテ御却下ニナツテ然ルベキコトト考  
ヘマス、夫レカラ又請願書ノ惡イト申スコトハ請願者自身ガ大層ナ資本デモ

ゴザリマシテ既ニ自身ガ北海道ニ大キナ土地ヲ所有シテ開拓ヲ致シテ居リマ  
スガ何分ドウモ勞力者ガ足りマセヌ、人間ガナイト申スコトデ事業ガ出來マ  
セヌソコデ勞力者ヲ僱ツテ見テモ何分賃金ガ高ウゴザリマシテ開拓ノ事業ガ  
思フ様ニユキマセヌ、ケレドモ其入費ノコトカラ凡テノコトハ皆自分デ遣リ  
マス其取締ノコトハ政府ヘ託シマスカラドウカ此北海道ヘ因徒ヲ移シテ開拓  
セシメタイト云フコトヲ申シ立ツレバ之ガ始メテ請願ト云フコトニナリマ  
ス、サウ申スコトデアレバ請願書ニナルノデアリマス、然ルニ請願者自身ハ  
自分ニ資本ヲ具ヘテ遣ルデハナシ政府ニ向ツテ斯様ナコトヲ御遣リナサイ、  
若シ御遣リナサルナラバ私ガ夫レニ任ジテ遣リマス云フノデアリマスガ是  
レハ抑、政府ヲ輕蔑シタト申シテ宜シイ、斯様ナコトヲ採擇スルト云フ其意  
ガ詳カナラヌモノト私ハ存ジマス、終リニ臨ミマシテ請願委員諸君ニ望ミマ  
スルハドウゾ其請願ト申スコトト建白ト云フコトハ其書類ノ中ニ最モ區別ガ  
ゴザリマスカラ請願ニ屬シタモノハ然ルベクサツサト御取上ゲニナリ、建白  
ニ屬スルモノハドウカ御取捨ヲニナルガ宜シイ、サウデナイ時ニハ憲法ノ第  
三十條モ第五十條モ主意ガマルデ立タヌコトニナリマスカラ是レ丈ケラ一言  
イタシテオキマス、

○細川潤次郎君　チヨット一言イタシマスルガ本員ノ申スノハ只今ノ問題  
ニナツテ居リマスル所ノ請願書ノ開拓事件デハゴザリセヌ、是レハ隨分採ルベ  
キ所モゴザリマスルガ隨分弊モアリサウナコトデゴザリス、是レハ勿論各員ノ御  
判斷ニ任セマスルヨリ外ニゴザリセヌガ爰デ一ツ辯ジテ置カバナラヌコト  
ハ只今ノ小幡君ノ御論デゴザリス、其言ハレタコトハモウ一人ノ小畑君モ申サ  
レマシテ不思議ナコトニハ御同姓ノ御方ガ同様ノ御説ヲ御唱ヘニナツタモ偶  
然一奇ト謂ツベキモノデゴザリスガ、其事ト云フモノハ奈何セン請願書ニ非  
ズシテ建白書デアアル、建白書ハ本員ニ於テ受理スベカラズ、而シテ請願書ノミ  
受理スベシト云フ約言スレバ是レヨリ外ハゴザリセヌ、是レハ隨分ムツカシ  
イ問題デゴザリシテ斯ノ如キ御兩君ノ御説ハ大層間違ッタコトデアルト申ス  
ノハ忍ビヌコトデアツテ誠ニ此ノ如ク御辯ジニナルノモ隨分御尤ノコトデア  
ルト思ヒマスノデ、何ゼカナレバ本員モ以前左様ニ解シタコトガアツタ、夫レ  
カラ段段考ヘテ見マスルト云フト彼言路洞開、昔カラ其通りノコトガゴザリ  
シタガ維新以來殊更ニ其主義ヲ擴張イタシテ建白書ハ汗牛充棟デアアル、夫レ  
ハ何處ヘモ出マスルガ近來元老院ナドヘ最モ出マシタ故ニ我々ハ屢、取扱ツテ  
居リマシタガ是レハ舊同僚ノ諸君ニ於テモ皆御承知ノコトデアアル、然ルニ此  
度ハ請願ト……憲法ニモ請願、又議院法ニモ請願ト云フ第十三章ニ於テ請願ノ  
部ヲ設ケテ段々其取扱ヲ委クシテアリマスル中ニ、倍其建白ト云フコトハ一  
モナイ、又何ゾ其請願ノ内ニモ公益ニ關スル事柄トカ何トカ云フ目ガアレバ

成ルホド形ハ請願デアルガ、實物ハ素ト在リ來ツタ建白デアルト云フコトハ  
察知スルニ餘リアルデゴザリマスルガ奈何センサウ云フ文面ハ一モナイ、サ  
ウシテ建白ト云フコトハ今後ナラヌノカ此後出ル道ガナイノカ否ヤヲ考ヘル  
ト誠ニ差支ガアル、所謂聖人ハ蕞蕞ニ諾フトカ何トカ申ス言路ノ自由又請願  
ノ自由ト云フコトノ範圍ヲ大ニ狭クナラシムル嫌ガアツテ以後建白ハ總テナ  
ラヌト云フコトニナツテ見ルト餘程是レハ言路壅塞スル譯ノモノデアアルマ  
イカト云フコトノ心配ヨリシテ餘程研究シタノデアリマス、研究シテ見ルト  
云フト此請願ト云フコトデゴザリスガ是レハ御承知ノ通りベテしよん即チ請  
願トカ哀願トカ云フ字ニ當リマスルサウデゴザリスガ畢竟外國ノ例ヲ引用ス  
ルハ甚ダ好ミマセヌコトデゴザリスケレドモ是レ等ノコトハ外國ノ例ニ倣ッ  
テ致シタコトデアアル故即チ外國ノ例ヲ引用スルモ又已ムヲ得マセヌコトト思  
ヒマスガ其外國ニドウ之ヲ取扱ツテ來テ居ルカト云フコトヲ種々其自身ニ憲  
法杯ヲ取調ベタ人ニ問合セ並ニ參考書類ヲ差送ツテ贊ヒマシテサウシテ研究  
シタ所ガ矢張り其中ニ請願ト云フモノヲ幾ツニモ種類ヲ分ケテ書テゴザリス、  
其中ニ公益ニ關スル建白ニ類スルモノガアルノデゴザリス、夫レデ始メテ我  
輩モ豫テ疑ツテ居リマシタ疑ヲ解テ成ルホド建白類似ノモノデアツテモ矢張  
リ請願書ノ體式ヲ用サヘスルナラバ議院ヘナリ何ナリ出シテ即チ憲法ニ規  
定シタ請願ト云フモノハ全ク夫レデアルト云フ見解ヲ始メテ下シマシタ、本  
員モ矢張り兩君同様ノ感觸ヲ最初懷イテ居リマシタ譯デアリマスカラ兩君ノ  
見解ハ御尤デナイトハ申サレマセヌ、然ルニ追々ト研究ヲ致シテ見マスルト  
是非建白ト云フモノハ世ノ中ニ消滅スル所ノモノデハナイ、而シテ出スニハ  
請願ト云フ名義ヲ以テ哀願ノ體式ニ致スト云フコトニ止マルト云フコトヲ自  
身ニ始メテ決了イタシマシタノデゴザリスカラ即チ此趣意ヲ以テ一應辯解シ  
テ置カナケレバナリマセヌガ此請願書利害得失云々ト云フニ至テハドウデモ  
宜シウゴザリス、善イコトモアリ惡イコトモアルデゴザリセウカラ是レハ請願  
委員ノ御調べニナツタ通り政府ヘ送付ニ及デ宜シイ、又然ラザルモ請願書ヲ  
政府ニ送付シタラ政府ニ於テ採擇スベシト多數ガ認メタ譯デアリマスマイ  
ト思フ、今一ツ申シテ見マスルト云フト此請願デゴザリスガ人民ノ請願書ト  
斯ウ云フ位ニ申シテゴザリシテ一個人ノ利害得失ニ關シタト云フ註解ハナイ  
ノデゴザリス、唯人民ノ請願書ト斯ウ云フヤウニ申シテアル、又議院法第六  
十八條ニ請願書ハ總テ哀願ノ體式ヲ用ベシ若シ請願ノ名義ニ依ラズ若クハ  
其體式ニ違フモノハ各院ニ之ヲ受クルコトヲ得ズト云フヤウニ書テゴザリス  
ガ即チ本員ガ只今説明ヲ致シマスル所ノ見解ヲ以テ之ヲ讀デ見マスルト能ウ  
分リマスノデゴザリス、例ヘバ建白ナラ建白ト云フコトデアアルガ併ナガラ夫  
レハ請願ノ名義ニ依ラズシテ或ハ建白書トカ建白書ト謂ツテ參ッタ時ハ兩院

ニ之ヲ受ケルコトヲ得ズト云フコトデ若シ請願書ト云フモノハ個人ノ利害得失ニ關スルモノト云フナラバ請願ノ名義ニ依テ謂ハシテモ宜イ理窟ニナル、又其前ノ第六十七條ニ各議院ハ憲法ヲ變更スルノ請願ヲ受クルコトヲ得スト斯ウゴザースガ是レ等モ即チ漫然トシテ建白ノ如キ性質ノモノデアツテ例ヘバ是レ迄度々アツタ國會ヲ開設シテ吳レトスウ云フヤウナ事柄ハ誠ニ間接ニ廻リ廻ッテ其人ノ利益ニナルカ知リマセヌガ一向各人ノ利害得失ニ直接ノ關係ハナイ、サウ云フヤウナモノガ是レ迄モアリ致シタモノデゴザースカラ遂ニ類推ヲシテ見タトキハドウモ憲法ノ箇條ガ宜シクナイ此所ガ不足スル之ヲ削ルト云フ變更スル請願ガ出ルカモ知レマセヌコトデゴザースル故ニ夫レハナラヌゾト云フ譯デ憲法ヲ變更スル請願ハ受クルコトヲ得ズト云フ條モ出來テ居ル譯デゴザースウ、サウ云フヤウナ譯デ餘程是レハ其建白類似ノモノガ多イト見テアリマスニ依テ議院法ニモ制限ヲ設ケテ名ハ必ズ請願書ト云フ名ニセヨ、又哀願ノ敬禮ヲ守ラチハナラヌゾト、斯ウ云フコト丈ケニ致シテ其中ニ含蓄スル所ノモノハ固ヨリ各人ノ利害得失ニ關スルコトモ又全國ノ利害得失ニ關スルモノモアラウ、ト云フコトニ之ヲ解シテ宜シカラウト存ジマスガ是レハ此中ノ請願書ニ限ラズ幾ツノ請願書ガ出テ參リマシテ苟モ各人ニ直接ノ關係ノナイモノハ皆却下スルカラ政府ニ送付セヌト云フコトニ相成ツテハ甚ダ本院ノ體面且又憲法並ニ議院法ノ解釋ニ於テ如何ト存ジマスカラ已ムヲ得ズ一言イタシマス、

○三浦安君 此北海道ノ件ニ付キマシテ請願ノコトハ兎角御論ガ綿密デゴザリマスガ本員ハ其意ヲ得マセヌ、是レハ本員等始メニ主張イタシマシタ說ノヤウニ之ヲ採擇スベシト言ヘバ條項ニ就テ綿密ニ是レハ採ル、是レハ採ラヌト云フコトノ詮議ヲ遂ゲテ政府ニ送付イタストキデアレバ之ヲ綿密ニ詮議センナラヌガ、サウデナク參考ト云フ意味ヲ以テ政府ニ送付スルハ相成リマシタラ之ヲドウモ汎ク致サチバナラヌ甲ノモノハ參考ニナリ乙ノモノハ參考ニナラヌ、ト云フ位ニテ其參考ト云フ文字ノアル故ニ決シテ請願中ノコトハ盡ク皆採用スベシト云フコトニハナリマセヌ、昨日一昨日ノ決議ニ依リマスルト採納スベカラザルモノト見タモノデモ採擇スベシト云フ、斯ウ云フ位デアアルニ先刻來北海道一件ノ請願ニ對シテ說ヲ聽キマスルト囚徒ヲ北海道へ移スト云フコトハ隨分參考ニナルノデアリマス、又請願ト爲シテハアリマスケレドモ之レハ請願デナイト謂ヘバ或ハ郡區ヲ分ツテ吳レトカ郡ヲ獨立ニシタイトカ村ヲ別ニシテ吳レト云フコトモアレモ皆請願デナイ、矢張り建白ニナル、政府ニ郡區ヲ分割スル上ニ於テ、建議スル外ナリマセヌ、此北海道ノコトヲ謂ヘバ北海道ニ殖民ガ不足シ隣境ノしやヲ懼レノしや人ガ殖民地ニ多ク出來テ遂ニ警備ノ點ニマデ係ッテ來テ北海道各地ノ人民一般ニ不幸ヲ來タス、痛苦ヲ慨

嘆シテ豫メ請願スルハ矢張り郡ヲ分ツテ吳レトカドウシテ吳レトカ謂フニ同決ヲ以テ出スガ善イト云フハドウ云フコトカ一向分リマセヌ、採擇シテ採ルベキモノアリ採ル可ラザルモノアリ種々アルノデアリマス、元ト元ト參考トシテ出スコトハ誠ニ曖昧デ出スノデ強テ是レハ善イ是レハ惡イト極メテ出スノデアハリマセヌ、今日迄皆御承知ノ通り漠然採擇スベキモノト議決シタト云フコトデアアルニ何ゾ此點一ツニ付テ是レハ惡イ是レハ善イト云フヤウニ論ゼラルルハ其意ヲ得マセヌ、先ノ議トハ違フヤウニ存ジマス、何ゾ彼ニ寛ニシテ此ニ酷ナリト謂ハザルヲ得ント存ジマス、デ又文言中ニ政府ガ冷淡視スト云フコトヲ申シタガ冷淡視デアルト云フニ由テ已ムヲ得ズ請願シ冷淡視ニセズ充分届テ居ル位ナラバ請願ハ致シマセヌ、北海道ハ荒漠ノ地ニシテ乃しや強國ノ隣邦ニ接シテ居ルノ殖民ガ不足シテ居ルノハ日本ノタメニ憂慮スベキデアアルニ政府ハ冷淡視シテ居ルノハ慷慨ニ勝エヌト云フノデ請願スルノハ是レハ實ニ尤ナ譯デ、依テ此中ノ利害得失ニ付テハ論ジマセヌガ苟モ參考トシテ出スコト云フコトニナリマスレハ先刻細川君ノ說カレマシタ建白ト請願ノ意味ヲ辯別スルコトハ誠ニムヅカシイコトデゴザイマス、一人一人ノ請願ニ付テ議院ニ於テ之ヲ可ト決シタラバ決シタ丈ケノ責任ヲ帶ビテ出スコトニナリマスレバ綿密ノ詮議ヲシテ置キマセヌケレバナリマセヌガ唯參考ニ出スコトハ是レハ建白デアアルニ是レハ請願デアアルト云フノ差別ハ恐クハ付キマセヌ、然ルニ甲ノ意見ハ參考トシテ出シ乙ノ意見ハ參考ニ出サヌト云フコトニナルト依估最良ニナル苟モ參考ト云フ以上ハ此請願モ參考トシテ出シテ何ノ苦シキコトガアリマセウ、元ト元ト此中ノコトヲ充分ニ取ルト云フコトデモ何デモナイノニ是レ一ツニ付テ過酷ニ論ジマスルコトハ一向本員ニハ分リマセヌ……依テ此請願書中ノコトニハ涉リマセヌ積リデアリマスケレドモ一言述ベザルヲ得スコトハ囚徒ヲ移シタレバ惡人ノ巢窟ニナルト云フコトヲ頻ニ言ハレマシタガ之ニ付テハ松平子爵ヨリモ辯明ガアリマシタガ人ハ今日マデ惡事ヲ爲シテモ改ムレバ善人ニナル、一度刑ヲ犯シタ者ナレバ何時ガ何時迄モ惡人ダト言ッテ惡人ノ巢窟ニナルト云フノハ……是レハ決シテ一時ノ過ヲ以テ人ノ終身ヲ棄ツルト云フコトハナイ諺ニ惡ニ強ケレバ善ニモ強イト云フコトガアリ、惡人モ過チテ悔メテ善人ニナツタナラバ其事業上ニ於テ勝レタコトヲ爲スト云フコトハ古來ヨリ充分經驗ノアルコトデ一度刑ヲ犯シタカラト言ッテ終身惡人ダト云フノハ是レハ萬國普通ノ道理デナイ、夫レ等ヲ以テ此意見書ガ惡イ或ハ請願ガ惡イト云フノハ恐クハ偏頗ノ御論旨デアラウト存ジマス、國事犯杯モ仕損ヘバ惡イガ夫レヲ悔ムレバ善キ人トナル又其意思モ一身ノ私慾デナイト云フコトデアッテ人ノ刑ヲ犯シタ者ヲ夫レヲ恕スルト云フコトハ充

分ニ餘地ノアルコトアリマス、決シテ罪ヲ犯シタ者デアツテモ夫レ一逼デ終身惡人ダト云ヘナイコトハ普通通知レ涉ツタ道理デゴザリマス、是レ等ヲ以テ請願書ヲ廢棄スルノ理由ニナスト云フノハ何ゾ此請願書一ツニ對シテ嚴シク詮議ノアルノハ何故デアルカ怪マザルヲ得マセヌ、依テ本員等ノ主意ハ元來サウデハアリマセヌガ參考ノタメニ請願書ヲ政府ニ出スト云フコトハ徹頭徹尾不同意デゴザリマススケレドモ是レガ議場デ詮議ノ目的ガ定ツテ政府ノ參考ニ出スト云フコトニ可決ニナツタ以上ハ偏頗ナク出スガ宜シイ、是レ一ツニ限ツテ出サスト云フコトハ本員ハ偏頗ト云ハザルヲ得マセヌ、

○岡内重俊君 議長……

○島内武重君 議長……

○副議長(伯爵東久世通禧君)

マシタ上デ……

午後零時二十分開會

午後一時二十五分開會

○副議長(伯爵東久世通禧君)

○島内武重君 本員ハ此案ハ全ク賛成ヲ致シマスルモノデ早ク政府ニ送付ヲシテカラ政府ノ參考ニ供ヘテサウシテ政府ノ注意ヲ促ス方ガ極ク肝要デア

ルト考ヘマスル、午前ノ會議ニ於キマシテ小畑君其他諸君ハ段々是レハ請願ニアラズシテカラ建白デアルカラシテ此議會ニ採擇ヲナスベキモノデナイト云フノ御説ヲ喋々トセラレマシタガ決シテサウ云フヤウナ譯デハアルマイト思ヒマス、既ニ郡區ノ分合ノ請願ヤ其他種々此請願ニ類似シタ所ノ請願ト云フモノハ此議會ガ受ケ込ンデサウシテ政府ノ方ヘ廻ハスト云フノコトニナツテ居リマスル、又此北海道ニ囚徒ヲ移シテサウシテ北海道ノ事業ヲ擴張スルト云フノ事柄ハ今回ノ議會ヘハ數百通ノ請願ト云フモノガ出テ居リマスルガ其中デ一番重ナル利害得失ノ大關係ヲ持ツテ居ル請願ト私ハ信用イタシマスデ其利ガ多ケレバ亦害モ多イ、利害共ニ重大ナルモノデアル中ニモ私ガ信認ライタシマス所ハ斯クノ通ニ趣旨ガ貫徹シタ上ニ於テハ利益ガ多クアリマス、凡テ害ハアルマイト私ハ信ジマスル、其譯柄ハ諸君モ御承知ノ通り今日我國ノ事業ヲ發達セシメテ富國強兵ノ日本トシナケレバナラスト云フコトハ諸君モ豫テ御熱心ノコト、又其富國ヲスル所ノ源ハドウカト云ヘバ幾ラモアリマスケレドモガ其重ナル所ハ今日此北海道ト云フ所ノ事業ヲ擴張シテカラサウシテ海產物ヲ得タナラバ第一日本ノ得ニナルト云フコトハ今日輿論ニナツテ居リマスルカラシマシテ此請願書ノ出マシタノヲ幸ニ我々議會ハ之ヲ採擇シテカラ早ク政府ノ方ニ廻ハシテ參考ニ供シ注意ヲ促スト云フコトハ前述ブル如

ク實ニ肝要ノコトデアアル、是レ迄政府ノ方針ハドウ云フ方針デ居ルカト云フニ我々ハ北海道ニハ未ダ實地ニハ立込ンデハ居リマセヌケレドモ段々立込ンダ人ノ話ヲ聽テモ隨分信用ガ出來マスル、是レ迄政府ノ遣リ方ト云フモノハ種々北海道ノ事業ヲ擴張シ其土地ニ人民ヲ移スト云フコトヲ熱心ニヤツテ居リマスルケレドモガ、ドウモ其北海道ニ移ツテイタ人民ト云フモノハ熱心其土地ニ於テ土地ヲ開拓シ又海產物ノ事業ヲ熱心ニ執ルト云フコトハドウモ少ナイモノト見エマスル、政府ノ方デハ餘程盡力シテ居ルケレドモガ行ク所ノ人民ハドウモ永遠ソコニ住居シテカラ何時迄モ熱心事業ヲ遣ルト云フコトハドウモ少數デアラウト云フコトヲ聽テ居リマス、中ニハ熱心ニ國ノタメニシナケレバナラスト云フ人間モアリマススケレドモガ多數ノ人間ハ北海道デ五千圓トカ一万圓トカノ利益ガアツタナラバ亦故郷ニ歸ツテ安樂ヲシヤウト云フ考ヲ惹起ス人間ガアルモノト聽テ居リマス、ト云フノハ諸君モ御承知ノ通り此地ハ風土氣候ノ違フ處デ此冬ニナリマスト大變冷ヤイ又夏ニナツテモ暮シカタガ餘程暮シ憎イ土地柄ト見エマスル、夫レ故ニ永ク其處ニ住込ンデ國ノタメニシヤウト云フヤウナル熱心家ガ乏イモノト見エマスル、夫レデ政府モ熱心ニ人民ヲ移シサウシテ事業ヲ獎勵シテカラ我國ヲ富マサントスル所ニ汲々トシテ居リマススケレドモガ今述ブル如キモノト實際其土地ニ移ツタ人民ハ熱心ニ事業ヲ取ラナイイガ故ニドウモ其事業ガ滯留スルト云フコトヲ聽テ居リマスデ此請願ノ趣意ハサウ云フ所ヲ大ニ看破シテカラ何様此内國ニ居レバ暮シヨイカラシテ北海道ニ移住シテ艱難辛苦ヲスル方ハ甚ダ好マシカラスト云フノデ其實況ヲ見テソシテ此我國ノ囚徒凡ソ七万人位アル所ノ内二万人位ヲ彼ノ地ニ移シタナラバ一生懸命ニ事業ヲ營ミ且ツ土地ヲ開墾スルト云フ所ニ著目シテカラ斯クノ通りノ請願ヲ出シタモノト私ハ考ヘマスル、實ニ是レハ普通ノ良民ト違ヒマシテ所謂犯罪者デアツテ權利ヲ束縛セラレテ居ル人間デアアルカラ此人間ヲ向フニ移シテサウシテ政府ハ干涉ヲシテカラ使役シタナレバ實ニ早ニ雨ヲ得タルガ如キ心持チデカラ彼ノ土地ニ於テ働ラシヤウト思ヒマス、實ニ是レハ良策デアアル、此請願者ノ趣旨ガ達セラレマシタ以上ニ於キマシテハ中々我日本ノ國益ニナルコトハ大ナル利益ニナリマスル、夫レデ諸君モ御承知ノ通り彼ノ地ニ於テ欲シガル人間ヲ派遣セシメテ其事業ヲ著手ヲシ勉強シタナラバ陸產物ト云ヒ海產物ト云ヒ夥シキ物產ヲ擧グルコトハ殆ト實ニ此海產物ノ澤山取レル第一鯨サウシテ鯨デヤ鱈デヤト云フモノガ取レルケレドモガ決シテ土民ガ取ラナイ、或ハ海ノ神様ナリト云フヤウニ畏懼心ヲ懷イテ取ラナイト云フコトヲ聞テ居リマス、是レハドウモ最モ當リ前ノ話デ又其他ノ一説ヲ聞テ見ルト其鯨ト云フヤウナ大ナルモノガ海ヲソツチニ渡

リコツチニ渡リシテ居リマス夫レガタメニ鯨ト云フ魚ハ鯨ニ逐ハレテ非常ニ良民ノ手ニ入ル、夫レダカラ鯨ヲ取ツタナラバ其鯨ト云フヤウナ魚ハ取レナイト云フヤウナ話モアルモノト見エマス、孰レニセヨ是レハ海カラ上ル所ノ物産ト云フモノハ澤山アリマスモノナラバ其物産ヲ取ラスルニハ決シテ我肉體ヲ惜マズ屈セズ機マズ事業ヲ熱心ニ營ムト云フ人間ガ其土地ニ居タナラバ前ニ述ブル如ク實ニ國益ニナリマス、其熱心ニ國益ノタメ吾カ生命ヲ犠牲ニ掛ケテ國ノタメヲスル人間ハ誰ヲヤツタラ善イト云フコトニ至リマス此囚徒ヲヤツタナラバ至極策ガ善イト言ハナラヌ、其他ノ普通ノ人間ハ前ニ述ブル如ク我が故郷ヲ思フ居ルカラ熱心取リマセヌ、ヨリシマシテ私ハ此囚徒ヲ移シテ事業ヲ擴張スルト云フ方ニ付キマシテハ大賛成デ早ク此案ハ政府ニ廻ハスヤウナコトニ致シタイ、夫レ故ニ本員ハ賛成イタシマシタ、加ヘマシテ問題外ニ涉リマスガチヨツト諸君ニ御注意申シマスガ演說中態々タグリテ發セラレマス中々演說ニ力ヲ失ヒドナタガ演說ヲナサルコシテモサウ云フヤウナ演說ニ妨害ニナルコトハナカラヌ方ガ善カラウト考ヘマスカラ諸君ニ向ツテ缺敬ナガラ御注意申シ上ゲマス、

○男爵伊達宗敦君 最早論旨モ盡キタト思ヒマスデ……

○岡内重俊君 此問題ニ付キマシテ簡單ニ陳述イタシタイ、ドウカ當席ニ於テ發言ヲ許サル、コトヲ……此議題ニ付キマシテハ本員ハ實ニ影響ノ及ブ所重大ナルコトデアラウト思ヒマス、其理由ハ此請願ハ名ハ請願デアルガ其實建白デアル、依テ此議會ハ建白ヲ受クル所デアリマセヌ、又或ハ假令建白ノ性質ヲ有スルモ矢張り請願デアル故ニ取テ以テ其筋ヘ送付スベキモノデアルト云フ、建白ナリ請願ナリ採否ニ關係ヲ來スモノト云フ論點デゴザイマシタ、然ルニ孰レモ其理由ニハ憲法並ニ議院法ヲ楯トシテ論ゼラレタル、シテ見レバ採ルト採ラザル所ノモノハ憲法並ニ議院法ヲ以テ其意ノアル所ニ依テ理由ヲ伸張シタ譯デアリマスガ本員孰レニ決シテ宜シイカ餘程是レハ重大ナル關係ヲモツ問題ト考ヘマス、依テ孰レニ決シテ宜シイカ甚ダ惑ヒマスガ先ヅ本員ハ暫ク此請願ノ旨趣ノ利害得失ハサテ措キマシテ本院ニ受ケマシテ以テ政府ニ送付スル價值ガアラウト思フ、又憲法議院法モ此精神ヲ組織セラレテ居ルモノト解釋イタシマス、又此建白ノ性質ハ名ハ請願デモ其實ハ建白デアルカラ採ラヌト云フ此採否ト云フコトハ即チ今日此議場デ議決シタ所ノモノハ即チ將來ノ慣例ヲ作り出スノデ、例ヘバ建白ノ性質ヲ有スルモ其實請願デアリマスカラ之ヲ採テ以テ其筋ニ送ルトカ或ハ名稱ハ請願ト稱スルモ其實ハ建白デアル、依テ議院ニ於テ受クベキモノニアラズト云フ理由ヲ以テ之ヲ棄却イタストカ、採ルト採ラザルトハ何レモ此案ノ議決ニ依テ後世ノ慣例ヲ作り出ス本トナルニ依テ是レハ充分ニ盡スベキモノデアラウト本員ハ信ジマス、倍

本員ガ此案ハ採テ以テ政府ニ送付スベキモノデアルト云フ方ニ左袒イタシマスル理由ハ全體請願ト建白ノ區別デゴザイマスル、憲法並ニ議院法ノ施行以前ニ當リマシテハ……彼ノ元老院時分ニハ建白書ノ立法ニ關スルモノハ元老院ニ差出シ其他ハ主任ノ廳ニ差出スト云フ規則モゴザイマスル、夫レニ引續イテ明治十五年十二月請願規則ト云フモノヲ設ケテ人民共同ノ利害ニ關スル行政上ノ處分ニ關シテ或ハ滔々ト請願ヲ差出スベシナドト云ツテ建白ト請願トノ區別ガ判然ト別ケテアル、然ルニ憲法並ニ議院法實施ノ後ハ右ノ法律ハ固ヨリ効力ヲ失テ即チ憲法並ニ議院法ノ精神ニ基イテ總令建白ト云フ性質ヲ有シテ居ツテモ請願ノ手續ニ合フテ居レバ請願ノ中ニ含蓄シテ居ルト本員ハ解釋ヲ下シマス、其理由ハ憲法ノ第三十條ニ臣民ハ請願ヲ致ス權利ガアルト定メテアツテ是レハ國民ノ權利義務ニ關スルコトデアアル、又第五十條デ「帝國議會」ト云フ所ヘ以テ行ツテ議會ハ臣民ノ請願ヲ受クルヲ得トアリマシテ其實際ノ活用ハ議院法ノ第十三章ニ規定シテアル、其第十三章ニ規定シテアル所ノ憲法ヲ變更スル請願ヲ除クトカ或ハ哀願ノ體ヲ備ヘヌトカ或ハ政府、議院ヲ侮辱スルトカ或ハ王室ニ對シテ不敬ノ言アルモノトカ或ハ法人ト認ムベキモノニアラザルモノノ代人ヲ以テ出シタ請願トカ五六箇條ノ條件付キデアル、此五六箇條ノ條件ニ反スルモノハ受理スルモノデナイト云フ議院法ノ第十三章ニ詳シク條件ガ備ヘテアル、倍其條件ノ中ニ請願ト稱スベキモノナルモ其趣旨ガ建白デアリシ時ニ之ヲ受ケヌト云フコトハゴザイマセヌ、此五六箇條ノ條件ニ背カスモノハ皆採ルト云フ精神デアリマス、縱令建白ノ性質ヲ以テ居ツテモ請願ノ名稱ヲ附シ請願ノ手續ヲ履ンデ居ルモノナラバ採テ以テ其筋ニ送ルトガ議院法ノ精神デ第十三章ニ判然明白デアリマス、然レバ前ノ請願規則ト建白ノ云々ト云フコトヲ皆此議院法デ變更イタシテ前ノ法律ハ効力ヲ失フテ皆議院法中ニ含蓄イタシテ居リマス、然ルトキハ到底採ル方ニ傾イテ居ル採ル方ガ多クシテ棄却スル方ノ條件ハ少イ、尙又請願ノ趣旨ヲ見マスルト此請願書ハ囚徒ヲ北海道ニ移シ或ハ内務省ヨリ監獄ノ官吏ヲ派出シテ取締ルナドト云フコトガアツテ、即チ一國ノ利害ヨリ論究シテ一身ノ利害ヲ論ジテ居ル、一身ニ及ンデ居ルト云フコトハ自ラ北海道ニ赴イテ夫レヲ使役スル其職ニ當リマセウト、是レハ一國ノ利害ヨリ論ジテ一身ノ利害ニ及ボシテ居ル、直接ニハ一國ノ利害ニ關シテ居ツテ間接ニハ一身ノ利害ニ關シテ居ル、ト見レバ他人ノ利害ニ關スル譯デモナイ、自分躬ヲ赴イテ其職ヲ盡ス其事ヲ行ヒマセウト矢張り一身ノ利害ニ關シテ居ルニ相違ナイ、夫レニ畢竟是レハ志願カ或ハ意見カト言ヒマスルト志願ト云フ方ヘ近イ志願トナレバ請願ト云フ方ヘ赴イテ來ル、意見ナレバ建白ノ方ヘ赴イテ來ルト云フト若シ是レガ只ノ建白ナレバ或ハ棄却ト云フ論モ起リマセウガ此請願ニ對シテハ請願者自ラ其事ニ當ラウト云

フ譯ダカラ請願ニ近イ、是レ等ノ理由ニ因リマシテ先ツ探テ以テ政府ニ送付シテ政府ノ勘考ヲ促ス、果シテ此請願ノ趣旨ヲ探テ一ノ法律案トシテ議會ニ出サレタ其時ニ始メテ反對諸君ノ述ベラル、通り或ハ罪人ヲ移シテ北海道ヲ積毒ノ地ニ陷レルハ宜シクナイトカ或ハ魯西亞ノ政略ニ倣フテ樺太ナドニ罪人ノ殖民ノ地ヲ開クトカ是レ等ノ方法ハ宜シキヲ得ルトカ得ナイトカ云フ利害得失ハ又諸君ニ於テ其案ニ付テ議スルノハ其ノ時デ今デハ只其筋ヘ差出シテ其考ヲ喚起スル丈ケノコトデアルカラ是レハ探テ以テ政府ニ送ルガ至當ト存ジマスルガ先ヅ憲法及議院法ノ精神ヨリ論究シテ此請願書ハ建白ニ屬スベキモノデアルカ或ハ一身ノ利害ノ關係ヲ持ツ請願ニ屬スベキモノデアルカト云ヘバ一身ノ利害ノ方ガ多イ、旁、ドウカ是レハ採擇イタシテ送付イタスコトヲ本員ハ希望イタシマス、

○子爵谷干城君 委員長ニチヨット質問イタシタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ、

○副議長(伯爵東久世通禧君) 宜シイ、

○子爵谷干城君 御調ニナリマシタ節ノ御審議ヲ少シク伺ヒタイト思ヒマスガ固ヨリ此請願ノコトハ夫レ夫レ規則ニモゴザイマス通り相當ノ敬禮ヲ以テ致サスナラスコトハ無論ノ話デゴザンヌガ此前ニ本員ガ申シ述ベマシタル通り「政府ノ冷淺視置カル、」云々夫レカラシテ又此半バゴロノ所ニ「豈優柔弛緩危險千萬ノ有様ト謂ハザルヲ得ンヤ」ト斯ウ云フ文章モゴザイマス「實ニ該道ヲ今日ノ如ク拋棄シ毫顧ミザルハ國家ノ爲メニ憂慮スベキ」云々ト云フコトモアル、是レハ先刻本員ノ申シ述ベマシタ通り毫顧ミスドコロデハナイ隨分心配ラシテアラウト思ヒマスガ御調ノ時ニハ此文面ニ付テ甚ダ不都合ナ文面デ棄却スベキモノト云フヤウナ御評議ハナイモノデアリマセウカ、其御評議ヲ伺ヒタウ存ジマス、

○侯爵蜂須賀茂韶君 只今谷子爵ノ御尋ニ御答イタシマスガ谷子爵ノ指サレマス其文字ニ付テハ別段是レハ不都合デアルト云フヤウナ議論ガ出マシタヤウニハ覺エテ居リマセヌ、去リナガラ大體ニ於テハドウモ是レハ會議ニ付スベキ程ノ價值ガナイモノデアルト云フ議論ハ委員中ノドナタカニアツタヤウニ存ジマスガ併シ多數ヲ以テ矢張り參考ノタメ政府ニ送付スベキモノト決シマシタヤウニ覺エテ居リマス、

○子爵谷干城君 チヨット質問イタシマス、是レハ隨分大切ナコトデゴザンヌルガ是レ等ノ文字ガ不都合デナイト云フコトニナリマスルト隨分胡濔庵ノ封事メイタ事柄モ差出シテ宜イ譯デ今後ノ御調ニ……御受取ニナルコトニ餘程關係ヲ持タウト思ヒマスガ、ソコヲハ請願委員長ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ伺ヒタイ、

○侯爵蜂須賀茂韶君 本員ノ見込ハ如何デアルト云フノ御尋デアリマスガ本員ハ總テ今朝來述ベマシタル所ハ委員會ノ評議ノコトヲ申シ述ベテ居ル積リデゴザンヌルカラ本員一個ニ於テハ如何存ズルカト云フコトデアレバ夫レハ別ノコトニ相成ラウト存ジマスガ併シ如何ニモ谷子爵ノ申サル、通り其文字ガ穩カナラヌ斯ウ云フコトヲ顧ミマセヌデ會議ニ付スルヤウニシタナラバ是レカラ先モサウ云フコトガアツタ時分ノ例ニモナルト云フヤウナ御考デアラウト存ジマスガ此外ニ段々請願書ガ出マシタ中ニ政府ニ對シテ何分ドウモ不敬ナ語ニ涉ルト存ジマスルヤウナモノハコリヤ却下スベシト云フテ隨分却下ニナツタノモ數々ゴザイマス、併シ夫レハ餘程不敬ナ語ガアツタノガゴザンシテ却下シタノデゴザンシテ此請願書ニ認メテアル只今谷子爵ノ指サレル所ナドハ如何ニモ夫レハ事實ニ於テ其ヤウニ政府ハ冷淺視シテ居ラヌヲ斯ノ如クニ稱ヘルハ不都合デアルト云フ御論ハ一應御尤デゴザンセウガ、併シ請願者ノ意トシテ申シ出ス時分ニハ此通りニ書キマシタノガ、政府ニ對シテ不敬ノ語ヲ用井タト云フ迄ニ御覽ニナル譯デゴザンセウカ、本員ハ決シテコマデハ見マセヌノデ……成ルホド事實ハ聊カ相違シテ或ハ此通りニ申スノハ政府ニハ充分ニ夫レ程ノ手順ヲ御盡シニナツテ居ルモノヲ斯ウ云フノハ事實ト相違スルト云フ丈ケハ如何ニモ認メマシタガ併シ不敬ノ語ニ涉ルカラ是レハ其箇條ヲ以テ却下スベシトマデハ委員會ニ於テハ認メマセヌノデゴザンシタ、本員モドウモソコマデハ一向考ヘマセヌデゴザイマス、

○副議長(伯爵東久世通禧君) 御論ガナクバ請願書ノ決ヲ採リマス、請願書ヲ採擇スベシト認ムル議員ハ起立、

起立者 少數

○副議長(伯爵東久世通禧君) 少數デゴザイマス、

○侯爵蜂須賀茂韶君 チヨット相伺ヒ置キマスガ採擇スベシトスル人ノ起立ヲ御尋ニナリマシテ少數デゴザンシタ以上ハ是レハ却下スベキモノトハ心得マセヌ、只議院ニ於テ受ケマシテ會議ニ付スルヲ要セヌモノト心得テ宜シイヤウニ存ジマスルガ、念ノタメニ之ヲ伺ヒ置キマス、

○副議長(伯爵東久世通禧君) 是レ迄ノ請願書モ左様ニナツテ居リマスルカラ却下デハゴザイマセヌ、只政府ヘ送付イタシマセヌ丈ケノコトデ……次ハ明治二十二年法律第十二號廢止ノ請願……

〔矢代書記官朗讀〕

意見書案

別冊東京市參事會東京府知事侯爵蜂須賀茂韶ノ明治二十二年法律第十二號ヲ廢シ東京市ヲシテ純然タル市制ノ下ニ立タシメタシトノ請願ハ市町村制發布以來各縣内ニ介在スル一小市ニテモ自治ノ實權ヲ得ルモノ既ニ三十六

ニ及ヘリ然ルニ大都會ナル東京市ニシテ變例ヲ布カレ依然今日ニ至ルモノハ政務ノ整理ヲ慮リ急激ノ嫌ヲ避ケ經濟ノ節用ヲ重シタル一時ノ便宜ニ出テ漸次完美ナル自治ノ實ヲ收メシメント欲スルノ意ナルヘシト雖東京市會及參事會開設以來ノ實驗ニ徴スルニ是等顧慮ノ憂アルヲ見ス然ルニ尙此變例ヲ存スルハ立憲政府ノ國民ヲ待ツ所以ニ非サルヘシ例ヘハ市長及助役其ノ他ノ職務ハ行政官吏之ニ當リ又ハ監督官ナル府知事ヲシテ市長ノ位地ヲ併有セシムルカ如キ一身ヲ以テ治者被治者ノ權義ヲ帶フル者ニシテ自治ノ精神ヲ煥發スル所以ニ非ス故ニ明治二十二年法律第十二號ヲ廢止シ東京市ヲシテ純平タル自治ノ下ニ立タシメタシトノ旨趣ニシテ其ノ實際ノ得失ニ至リテハ容易ニ斷言スヘカラサルモノアリト雖人民ノ權利ニ關係アルモノナルヲ以テ貴族院ニ於テ採擇スヘキ請願ナリト議決致候依リテ議院法第六十五條ニ因リ別冊及御送付候也

明治二十四年二月 日

貴族院議長伯爵伊藤博文

內閣總理大臣伯爵山縣有朋

〔左ノ請願書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ此ニ載録ス〕

明治二十二年法律第十二號廢止ノ請願

恭惟ニ國運大ニ進ミ新ニ立憲政體ヲ創始シ又地方自治ノ制度ヲ實施ス此ニ於テ國家經綸ノ具已ニ備レリト謂フ可シ此立憲政ヲシテ彌其美ヲ加ヘ益其善ヲ進メント欲セハ必ス先ツ地方自治ノ制度ヲ完全鞏固ナラシムルニ如カス苟モ一國人民ニシテ果シテ能ク其自治團體ノ全キヲ得隨テ智識ヲ磨シ權義ヲ重シ進ント國家ノ大政ニ參シ退テ共同自治ノ本分ヲ盡スニ至ラハ立憲政ノ完美ヲ見ル決シテ疑ヲ容レサル所ナリ故ニ立憲政ノ完美ヲ求メント欲セハ先ツ地方自治ノ基礎ヲ固フサルヨリ善キハ無シ曩者市町村制ヲ發布セラレタルハ政府夙ニ見ル所アツテ專ラ立憲政ノ美ヲ舉ケントスルノ意ニ外ナラサルヲ信ス爾來各地方ニ於テハ法律ノ命スル所ニ隨ヒ靡然トシテ新制ヲ實行シ自治ノ實權ヲ得ルモノ既ニ三十六市ニ及ヘリ然レトモ皆之レ各縣內ニ介在スルノ一小市ノミ今ヤ彼ノ小市タモ已ニ自治權利ヲ全フスルヲ得ルニ至リシニ大都會ナル我東京市ニシテ自治制ノ全キヲ得ル能ハス依然トシテ變例市制ノ管スル所ト爲ル嗚呼市民發達ノ智力未タ以テ本制ノ事務ヲ舉ルニ足ラスト爲ス乎財政ノ力モ亦未タ以テ之ヲ支フルニ足ラスト爲ス乎內顧反省敢テ自ラ其然ラサルヲ信ス夫レ東京市ハ輦轂ノ下ニシテ内外貨物ノ集聚スル所全國民衆ノ輻輳スル所其人口百四十萬ノ多キヲ有シ其富實ニ於ル其智識ニ於ケル遠ク全國ノ市府ニ冠絶セリ其レ此大市ニシテ他ノ小市ノ得有セル權利ヲ占ルコト能ハサルハ抑モ何ノ原因アツテ然ルヤ蓋シ政府

此變例ヲ布クニ忍ヒシ所以ノモノハ他ナシ政務ノ整理ヲ慮リ又急變ノ嫌ヲ避ケ且經濟ノ節用ヲ重シ一時ノ便宜ヲ取リ漸次完美ナル自治ノ實ヲ收メント欲セラル、用意ノ厚キニ在ルヤ更ニ疑ヲ容レサルナリ然レトモ東京市會及市參事會開設以來政務ノ實驗ニ於ケル果シテ本制ニ堪ユルノ實力ニ乏シト爲ス乎恐クハ彼ノ三十六市ニ對シ愧ル所ナカルヘシ況ヤ本市ノ富實市民ノ智識人口ノ夥多ナル他ノ比ニ非ラサルニ於テオヤ此ノ如キ實力ヲ有スルニモ拘ハラス尙ホ變例ヲ存シ我市民ヲシテ永ク此不幸ノ域ニ沈淪セシムルハ立憲政府ノ國民ヲ待ツ途ニ非サルヘシ此ニ自治ノ本領ニ背戾スルモノ其一端ヲ舉クレハ則チ市長及助役其他ノ職務ハ悉ク行政官吏之ニ當ルカ如キ又ハ監督官ナル府知事ニシテ市長ノ地位ヲ併有スルカ如キ是レ一身ヲ以テ治者被治者ノ權義ヲ帶フルモノニシテ其極終ニ自治ノ精神ヲ煥發スルコト由ナク事皆有名無實ノ域ニ陷リ其弊害ヲ救フヘカラザルニ至ラン今ヤ大政ノ進路定リ正明ノ治ヲ布キ務メテ積弊ヲ除キ事偏頗ナキヲ期スルノ秋ニ當リ我東京市ノ自治本體上ニ於テ須臾モ假借スヘカラサル市長助役等ノ任務ヲ舉テ以テ行政官ノ占有二附スルニ至ラシムルモノ是レ立憲政府ノ治ヲナス所以ニ非サルヘシト信スルナリ

以上ノ理由ヲ以テ茲ニ東京市民ヲ代表スル市會ノ決議ニ依リ明治二十二年法律第十二號ノ廢止ヲ議決セラレンコトヲ謹テ請願仕候也

明治二十三年十二月二十七日

○侯爵蜂須賀茂韶君 此請願書モ即チ只今朗讀ニナリマシタル通り、實際ノ得失ニ至リマシテハ中々容易ニ斷言シ得ベカラザル事柄デゴザンスルガ、併シ人民ノ權利ニ關係スルコトガ多イト申ス、全ク此理由ヲ以テ本院ニ於テ採擇スベキ請願ト議決ヲ致シマシタ譯デゴザンス、是レハ東京市參事會東京府知事即チ本員ガ請願者デゴザイマシテ、實ハ甚ダ變則ノ請願デアルト云フコトハ、本員モ之ヲ差出ス以前ヨリ承知ハ致シテ居ルノデゴザンス、併ナガラドウモ此特別市制ト云フモノガ存シテ居リマスル以上ハ東京府知事ト云フ者ガ市長ノ職務ヲ行フト云フコトニナツテ居リマス、夫レデ是レハ市長ヨリ差出ス請願ト御覽ニナリマシタ宜イノデ、夫レ故只ノ東京府知事ガ申ス譯ハ決シテ無イ、東京市參事會ノ東京府知事デゴザンシテ、即チ是レハ市長ガ請願者トナツテ提出ヲ致シタモノト御承知ヲ下サレマシテ、一人ノ身分デ請願者トモナリ、且ツ又此委員長トモナツテ此ノ如ク辯解スルト云フノハ甚ダ嫌ガアルヤウニモ存ジマスルガ、併シ全ク其職掌ヲ異ニシテ居ルノデゴザンシテ、市長ノ職掌ト又此貴族院ニ於キマシテノ委員長ノ職掌トハ分チガゴザンスルデ全ク別人モ同様ノ考デ御報告ヲ申シ上ル譯デゴザンス、只今申シ上ゲマシタ通り東京府知事ト云フモノハ已ムヲ得ズ市參事會ノ東京府知事ト揭

ゲタノデ他ニ代表者ノ掲ゲヤウガゴザラス故ニ斯様ニ掲ゲマシタノデゴザン  
ス、其邊ニ御疑ガアツテハ相成リマセヌカラ一應申シ上ゲテ置キマス、之ヲ  
採擇スベシト致シマシタノハ、簡單ナル理由デゴザンシテ只參考ノタメニ政  
府へ送付スルト云フノデゴザンヌ、

## ○男爵長岡護美君

此請願ハ蜂須賀侯爵ガ全市ノ人民ヲ代表サレテ、即チ  
此請願ヲ出サレタ譯デアリマスルガ、元來政府デ此特別市制ト云フモノヲ設  
ケタ譯ハ、是レハ行政上ノ已ムヲ得ザル事カラシテ、其繁劇ナル所デ、先ヅ特  
別市制ト云フモノヲ設ケテアツタノデアリマス、然ルニ段々ト自治制ノコト  
モ此行政上ノ事モ整理シテ參リマシタ、市民ノ方デハ益、此自治ノ精神ヲ煥  
發シタイト云フ希望ニナツテ居リマス、既ニ市會デモ決議ガアリマシタ、又衆  
議院ニ於テハ市會議員ノ一人ナル青木匡氏カラ特別市制廢止ノコトヲ議場ニ  
提出ニナツテ居リマス、全ク市ノ人民ガ此行政ノ監督長官ガ自治ノ上ニ立ッ  
テ夫レガタメニ所謂自治ノ實權ヲ失フコトヲ甚ダ不幸ト考ヘマシテ、夫レデ  
此完全ナル自治制ヲ東京市ニ求メタイト云フ請願ニ過キヌノデアリマス、青  
木匡氏ハ衆議院デ特別市制全廢ノ建議ヲ致シテ居リマスルガ、本員ハ又總テ  
全廢イタシタナラバ、今日行政上ニ差寄リ差支ヲ生ズルコトガアラウト考ヘ  
マス、就キマシテ本員ハ只今此議案ヲ起草中デアリマスルガ、不日取調ベ  
マシテ此議場ニ議案ヲ提出イタシマシテ、市制中特別市制ニ關スル條件ノ改  
正案ヲ提出仕ラウト存ジマスルデ、不日議場ニ差出シマシタル其節ニ十分ニ  
本員ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマスカラ、此請願書ニ就キマシテハ其理由モ此  
請願書中ニ明白ニ掲ゲテアリマスル通りデ、本員ハ今日ハ別ニ喋々スルコト  
ヲ要シマセヌ、政府ニ於テモ今日已ムヲ得ザルニ依テ此特別市制ヲ布カレテ  
居ル譯デアリマスルデ、是レハ採擇スベキカ採擇スベカラザルカト云フコト  
ハ政府デ又勘考モアリマセウト存ジマスルデ、此意見書案ト云フヤウナモノ  
ハ是レコソ政府ニ提出シテ、サウシテ政府ノ參考ニ供シテ至當ト考ヘマスル  
デ……何卒速ニ議場ヲ通過シテ政府へ送付ニナリタイト存ジマス、本日ハ夫  
レ丈ケノ理由ヲ述ベテ置キマス、

## ○男爵千家尊福君

私ハ是レニハ聊カ異見ヲ懷イテ居リマス、元來東京市  
ヲシテ純平タル自治ノ下ニ立タシメント云フ趣旨ハ最モ結構ナ精神ニ相違ナ  
イ譯デ、然レドモ此意見書ヲ見マスルト云フト、其實際ノ得失ニ至テハ容易ニ  
斷言スベカラザルモノナリト雖モ人民ノ權利ニ關係アルモノナルヲ以テ貴族  
院ニ於テ採擇スベキ請願ナリト云フ趣意ニナツテ居リマス、然ラハ東京市ヲ  
シテ純平タル自治ノ下ニ立タシメントスル實際ノ得失ニ於テハ容易ニ斷言シ  
得ベカラザルモノデハアルナレドモ、只人民ノ權利ニ關係スルモノデアアルカ  
ラ本院ニ於テ採擇スベキモノデアアルト議定イタシタト云フ趣意ニ他ナラヌ話

デアリマス、是ヲ以テ見マスルト云フト貴族院ハ東京市ノ特別市制ヲ廢スル  
議ニ就テハ、甚ダ冷淡ナル決議ヲシタト云フ評ヲ受ケルコトヲ免レ難イデア  
ラウト思ヒマス、如何トナレバ實際ノ得失ヲ調査スルノ手續ト云フモノハ議  
院法ニ規定シテアリマス、諸君御承知ノ通り議院法ノ七十四條ニ各議院ヨリ  
審査ノタメニ政府ニ向ッテ必要ナル報告又ハ文書ヲ求メルコトノ出來ルコト  
ハ明カニ規定シテアリマス、此ノ如ク審査ノタメニ報告ヲ求メ或ハ文書ヲ求  
ムルノ手續ヲナシ得ル規定ガアル以上ハ、此規定ニ從ッテ實際ノ利害得失ヲ  
詳カニ審査スルノ手續ヲ經テカラ本院ノ意見ハ此ノ如シト明カニ本院ノ意見  
ヲ定メテ採擇スベキモノナレバ採擇シテ之ヲ政府ニ送付スルト云フコトガ本  
院ニ於テ最モ執ルベキ方針デアラウト本員ハ思ヒマス、此意見書ノ如ク只  
人民ノ權利ニ關係スルモノデアアルカラ採擇スルコトニナルト、將來何事モ人  
民ノ權利又ハ休戚ニ關係シナイ請願書ハアルマイト思ヒマスカラ、何時デモ  
議事ヲ開テ之ヲ議スルノ必要ハナカラウト本員ハ思ヒマス、況ヤ人民ノ權利  
ニ關係スル事デアツテ見レバ、本院ハ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ其意見ヲ定メルノ  
ガ人民ニ對シテ最モ必要ナル取扱ト思ヒマス、然ルニ今長岡君ノ御演說ヲ承  
ハレバ、長岡君ハ之ニ對シ一ノ意見ガアルカラ十分ニ調査シテ不日議場へ提  
出スルト云フヤウナ御意見ノヤウニ承リマス、誠ニ幸ナルコトデアリマスカ  
ラ、此特別市制ニ關係スル本日ノ議事ハ暫ク延會ヲ致サレテ長岡君ガ完全ナル  
調査ヲ遂ゲラレテ議場へ提出セラル、ノ後更ニ此議事ヲ開カレルコトニナル  
ノガ最モ穩當ナル手續デアラウト本員ハ存ジマス、

## ○小畑美稻君

此請願書ハ蜂須賀侯爵ガ東京市市長ノ資格ヲ以テ差出サレ  
タ請願デ東京市民ヲ代表サレテ居ルコトハ長岡君カラモ御説ガアリマシタガ  
先キニ全國ニ市町村制ヲ布カレテ三十六ノ小市デモ悉ク自治ノ體ガ備ハツテ  
居ルニ此東京市都大坂ノ三市ニ限ッテ市長ハ官吏デヤルト云フヤウナコトデ  
ハ自治ノ自治タル所ガ立タヌト思ヒマス、本員モ東京府ノ市民デアアルガ此請  
願ハ東京市民一人デモ不服ナ者ハアルマイ皆希望スル所ノコトト思ヒマスカ  
ラ速ニ採擇シテ政府ニ送付スルコトヲ希望イタシマス、

## ○侯爵醍醐忠順君

本員モ此案ニハ賛成ヲ致シマス、只今千家君ハ長岡君  
ノ意見ヲ懷イテ居ラル、ニ依テ夫レ迄請願書ヲ止メテ置クト云フコトデアリ  
マスルガ夫レハ甚ダ不賛成デゴザリマス、是レハ是レデ何所迄モ政府ニ御送  
達ニナリマシテ長岡君ガ發議ノ意見ヲ懷イテ十分ノ見込ガアルナレバ別ニ發  
議提出ニナリマシテ此案ハ此案デ議決アツテ宜イ譯、夫レガタメニ請願書ヲ  
留メ置クト云フコトハ甚ダ不賛成デアリマスカラ一言申シテ置キマス、

## ○岡内重俊君

本員モ此請願書ハ無論議決ヲ致シタイ譯デ之ニ不同意ハナ  
イコトト信ジマス、現行ノ特別市制ノ非ナルコトハ最早言ヲ俟タヌ譯デアリ

マシテ元老院ノ會議ニモ已ニ地方制度ガ出マシテ現行ノ特別市制ノ案ヲ議スル時分ニモ頗ル不同意ヲ唱ヘタ者デアリマス、ケレドモ少數ヲ消滅シテ特別市制ガ現行ハレテ居ル所ガ愈々特別市制ノ不都合ナルコトヲ今ニ至ツテ發見ヲシテ此請願書ヲ見ルノハ實際ノ經驗上ヨリ最早爭フベカラズト云フ時ノ至タ譯デアリマスカラドウカ此請願ノ貫徹イタサント望ミマス、此地方制度ノ發布ノ時ハ明治二十一年四月法律第一號デアツテ地方制度ニハ容易ナラヌ勅諭ガ附テ居リマス、此特別市制ハ勅諭ニ背クト迄此案ヲ議スル時分ニ論ジタモノデゴザイマシテ今其勅諭ヲ御參考ノタメニ之ヲ朗讀イタシマス

「朕地方共同ノ利益ヲ發達セシメ衆庶臣民ノ幸福ヲ増進スルコトヲ欲シ隣保團結ノ舊慣ヲ存重シテ益々之ヲ擴張シ更ニ法律ヲ以テ都市及町村ノ權義ヲ保護スルノ必要ヲ認メ茲ニ市制及町村制ヲ裁可シ之ヲ公布セシム」トカウ云フ勅諭ガゴザイマス、此勅諭ニ對シテ特別市制ヲ置クノハ甚ダ不都合ト云フコトデ今日之ヲ改メテバナラヌト云フ端緒ヲ出シタノハ此勅諭ノ精神ニモ協ヒマスシ最モ當ヲ得タルモノト信ジマス、故ニ速ニ可決ヲ致シテ此請願ハ其筋ニ送付イタサレンコトヲ希望イタシマス、

○副議長(伯爵東久世通禧君) 御討論ガナイナレバ請願書ノ決ヲ採リマス、請願書ヲ採擇スベシト云フ議員ハ起立、

起立者 多數

○副議長(伯爵東久世通禧君) 過半数デゴザリマス、意見書ノ決ヲ採リマス、意見書ニ同意ノ者ハ起立、

起立者 多數

○副議長(伯爵東久世通禧君) 過半数デゴザリマス、意見書ノ決ヲ採リマス、北垣國道ヨリ提出ノ請願、

〔矢代書記官朗讀〕

#### 意見書案

別冊京都市參事會京都府知事北垣國道ノ明治二十二年法律第十二號ヲ廢シ京都市ヲシテ純然タル市制ノ下ニ立タシメタシトノ請願ハ市町村制發布以來橫濱市外三十六市ハ已ニ本制施行ノ恩ニ浴セルニ明治二十二年法律第十二號ヲ以テ特別市制ヲ布カレタルカ故ニ京都市及東京大阪ハ反テ自治ノ團體ヲ組織スルヲ得ス此ノ特別市參事會及市吏員各異種ヲ以テ成立スルカ爲市ニ永遠ノ公益ヲ希圖スヘキ事業アルモ之ヲ執行スル能ハス又市政ノ機關タル市參事會ハ其ノ首領タル市長助役ト僚屬タルヘキ市書記ト共ニ官選吏員ノ兼攝スル所トナリ市會ノ選任セル名譽職市參事會ハ僅ニ其ノ間ニ介在スルニ過キスシテ勢力ヲ伸フル能ハス又市制ヲ統一スル市役所ナクシテ市制施行前ト異ナル所ナク市ハ依然トシテ百事區役所ノ管理スルカ如キ事

實アリ終ニ京都市ナル自治團體ヲ組織シタルノ感念薄ク從テ自治ノ精神ヲ揮擲スル能ハサラシメ又市内ノ區畫モ國政府政ヲ區長ニ委任スルニ依リ市ノ便宜ニ定ムル能ハサルノミナラス區長ノ權限廣大ニシテ市參事會ト輕重權衡ヲ失シ其ノ結果ハ實際施政ニ不便不利ヲ現ハスニ至レルヲ以テ該法律第十二號ヲ廢シ京都市府ヲシテ純然タル自治ノ下ニ立タシメタシトノ旨趣ニシテ其ノ實際ノ得失ニ至リテハ容易ニ斷言スヘカラサルモノアリト雖人民ノ權利ニ關係アルモノナルヲ以テ貴族院ニ於テ採擇スヘキ請願ナリト議決致候依テ議院法第六十五條ニ因リ別冊及御送付候也

明治二十四年二月 日

貴族院議長伯爵伊藤博文

#### 內閣總理大臣伯爵山縣有朋殿

〔左ノ請願書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ此ニ載録ス〕

法律第十二號廢止ノ請願

凡ソ社會ノ事皆是レ不得已シテ起リ不得已シテ廢ルモノナリ夫ノ自治ナル事柄ニ於ケルモ亦然リ即チ自治セサル可ラサル必要ニ遭遇シテ始メテ自治ノ念起リ終ニ自治ヲ實行スルニ至ル蓋シ我政府カ市町村制ヲ發布シ尋テ之レヲ實行セラレタルハ帝國憲法ヲ實施シ代議政治ノ實ヲ舉クルノ時勢ニ際シ必要ニ應ジテ之レヲ發布シ之レヲ實行セラレタルニ外ナラサルヘシ故ニ市町村制ハ帝國憲法ト共ニ唇齒トナリ羽翼トナリ時ニ或ハ之カ土臺トナリ相續テ治國ノ効ヲ爲スモノナリ抑モ本制發布ノ當時都市ノ人民皆ナ以爲ラク各自ノ權利ヲ保護シ全市共同ノ利益ヲ増進スルハ本制ヲ實施スルノ日ニアリト日夜熱心希望其實施ノ期ヲ待ツコト一日三秋雷ナラサル景況ナリキ然ルニ我政府ハ深キ慮リナリシヤ法律第十二號(特別市制)ヲ發布シ我京都及ヒ東京大阪ノ三市ニ係ル自治ノ特例ヲ設ケラル是ニ於テ全國中橫濱市外三十六市ノ人民ハ本制施行ノ榮ヲ擔ヒ自ラ其代議機關ヲ構成シ自ラ其行政機關ヲ選舉シ其市ノ權利ヲ保チ其市ノ利益ヲ増進スルノ恩ニ浴スルコトヲ得ルモ我京都及ヒ東京大阪ノ三市ノ人民ハ本邦ノ首府大都ニ住スルニモ拘ハラス此幸榮ヲ擔フコトヲ得ス此權利ヲ享ルコト能ハス現ニ起スベキノ利ヲ視ルモ復タ之ヲ起スコトヲ得ス此權利ヲ享ルコト能ハス現ニ起スベキノ利ヲ空シク二箇年ヲ經過セリ蓋シ或ハ特例ノ不便ナル所アルニ由ル歟願フニ我京都市ト橫濱市外三十六市トノ事情ニ於ケル固ヨリ小異同アリト雖モ其自治團體ヲ維持經營スルノ點ニ至テハ豈復タ異ナルモノアラシヤ然ルニ彼レハ已ニ本制ニ依リ自治團體ヲ組織スルコトヲ得我レハ未タ特例ノ下ニアリ橫濱市外三十六市ノ恩澤ニ浴シ國家自治ノ基礎ヲ造成スルノ幸榮ヲ得サルハ悲歎ニ堪ヘサル所ナリ嘗テ實際ニ照シ竊カニ之ヲ惟ミルニ法律第十

二號ハ深慮ノアル所却テ自治ノ基礎ヲ圖ルニ便ナラサルカ如シ  
之レヲ要スルニ三市ノ特例ハ市參事會及市吏員各異種ヲ以テ成立スルカ爲  
メ市ニ永遠ノ公益ヲ企圖スヘキ事業アルモ之レヲ執行スル能ハス市政ノ機  
關タル市參事會ハ其首領タル市長助役ト僚屬ノ用ヲ爲スヘキ市書記共ニ官  
撰吏員ノ兼攝スル所トナリ市會ノ撰任セル名譽職市參事會員ハ僅ニ其間ニ  
介立スルニ過キスシテ勢ヒ力ヲ伸フル能ハス又市政ヲ統一スル市役所ナク  
シテ市制施行前ト異ナル所ナク市ハ依然トシテ百事區役所ノ管理スルカ如  
キノ事實ニ陥リ終ニ京都市ナル自治團體ヲ組織シタルノ感念薄ク從テ自治  
ノ精神ヲ擡揮スル能ハス又市内ノ區劃モ國政府政ヲ區長ニ委任スルニヨリ  
市ノ便宜ニ定ムル能ハサルノミナラス區長ノ權限自ラ廣大ニシテ市參事會  
ト輕重ノ權衡ヲ得ス其結果ハ實際施政ニ不便不利ヲ現ハスニ至レリ是レ亦  
不得止シテ特例廢止ノ時勢ニ必要トスル所以ナリ仰キ希クハ此實際ヲ洞察  
セラレ本市ヲシテ純然タル自治團體タルヲ得セシメラレンコトヲ市會ノ建  
議ニ依リ謹テ請願仕候也

明治二十四年一月十四日

○侯爵蜂須賀茂韶君 是レモ全ク東京市ノ請願書モ同様デゴザイマシテ矢  
張り京都府知事北垣國道氏ハ特別市制ニ依テ即チ市長ノ資格ヲ以テ此請願書  
ヲ差出サレタコトデゴザイマシテ容易ニ斷言スルコトノ出來スコトデハゴザ  
リマスルガ人民ノ權利ニ關スルコトデゴザイマスカラ參考ノタメ政府ニ送付  
シテ宜シカラウト云フ議決デゴザイマス、  
○副議長(伯爵東久世通禧君) 討議ガナクバ決ヲ採リマス、該請願ヲ採擇  
スベシトノ議員ハ起立、

起立者 多數

○副議長(伯爵東久世通禧君) 過半数……多數デゴザイマス續イテ意見書  
ノ決ヲ採リマス、該意見書ニ同意ノ議員ハ起立、

起立者 多數

○副議長(伯爵東久世通禧君) 過半数デアリマス、明日ハ一昨日ノ例ヲ以  
テ休會ヲ致シマス明後日……二十六日木曜日ノ議事日程ヲ御報告イタシマ  
ス、第一、請願委員長侯爵蜂須賀茂韶君ノ報告、第二、豫算案議定細則案ノ會ヲ  
開キマス、今日ハ御散會……

午後二時二十五分開場